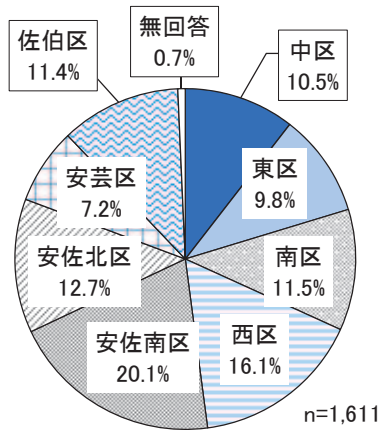


## II 調査結果

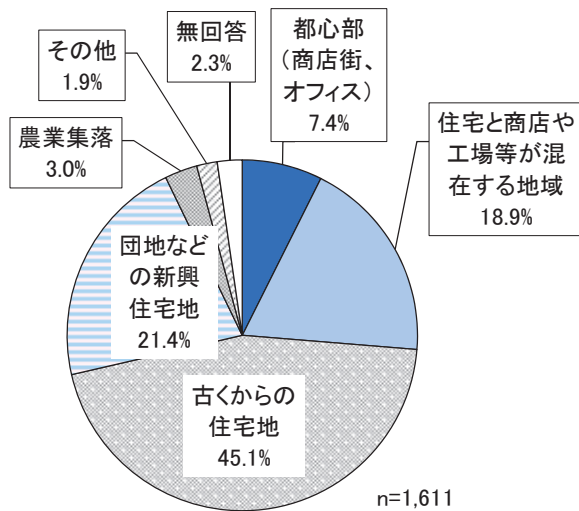
### 1 属性

#### (1) 居住区



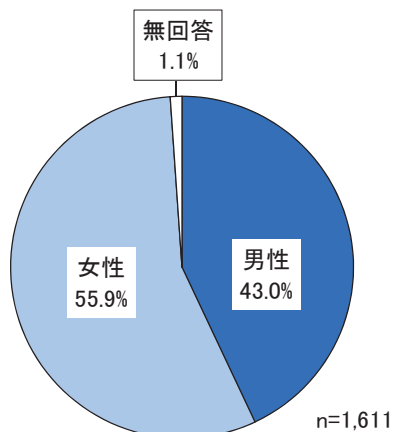
	回答数	割合
中区	169	10.5%
東区	158	9.8%
南区	185	11.5%
西区	259	16.1%
安佐南区	324	20.1%
安佐北区	205	12.7%
安芸区	116	7.2%
佐伯区	183	11.4%
無回答	12	0.7%
全体	1,611	100.0%

#### (2) 居住地域の状況



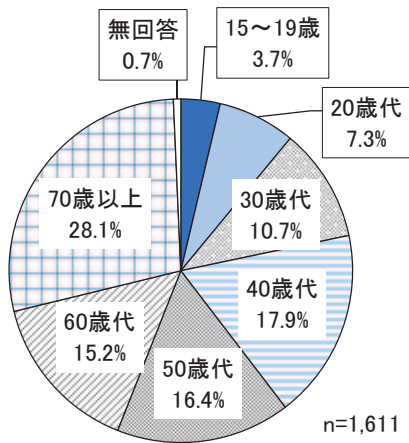
	回答数	割合
都心部 (商店街、オフィス)	119	7.4%
住宅と商店や工場等が混在する地域	305	18.9%
古くからの住宅地	727	45.1%
団地などの新興住宅地	344	21.4%
農業集落	49	3.0%
その他	30	1.9%
無回答	37	2.3%
全体	1,611	100.0%

#### (3) 性別



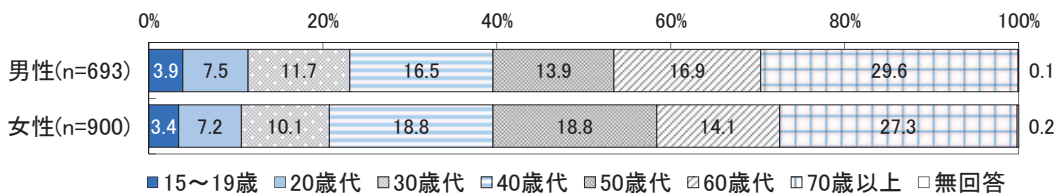
	回答数	割合
男性	693	43.0%
女性	900	55.9%
無回答	18	1.1%
全体	1,611	100.0%

(4) 年齢

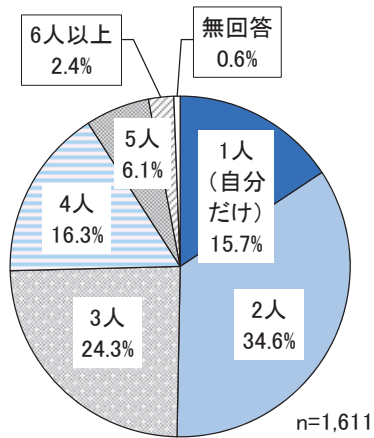


	回答数	割合
15～19歳	59	3.7%
20歳代	118	7.3%
30歳代	172	10.7%
40歳代	288	17.9%
50歳代	265	16.4%
60歳代	245	15.2%
70歳以上	453	28.1%
無回答	11	0.7%
全体	1,611	100.0%

(性別)

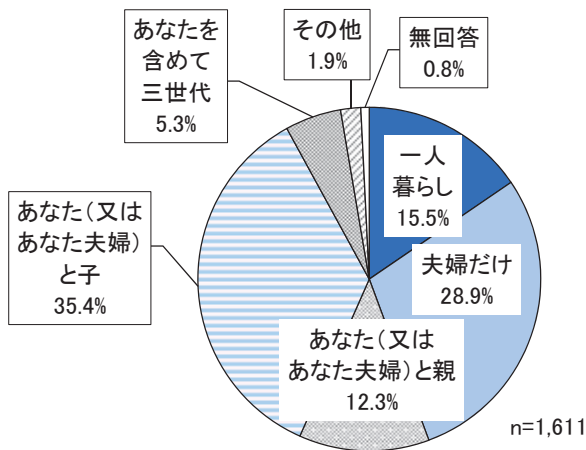


(5) 同居家族数



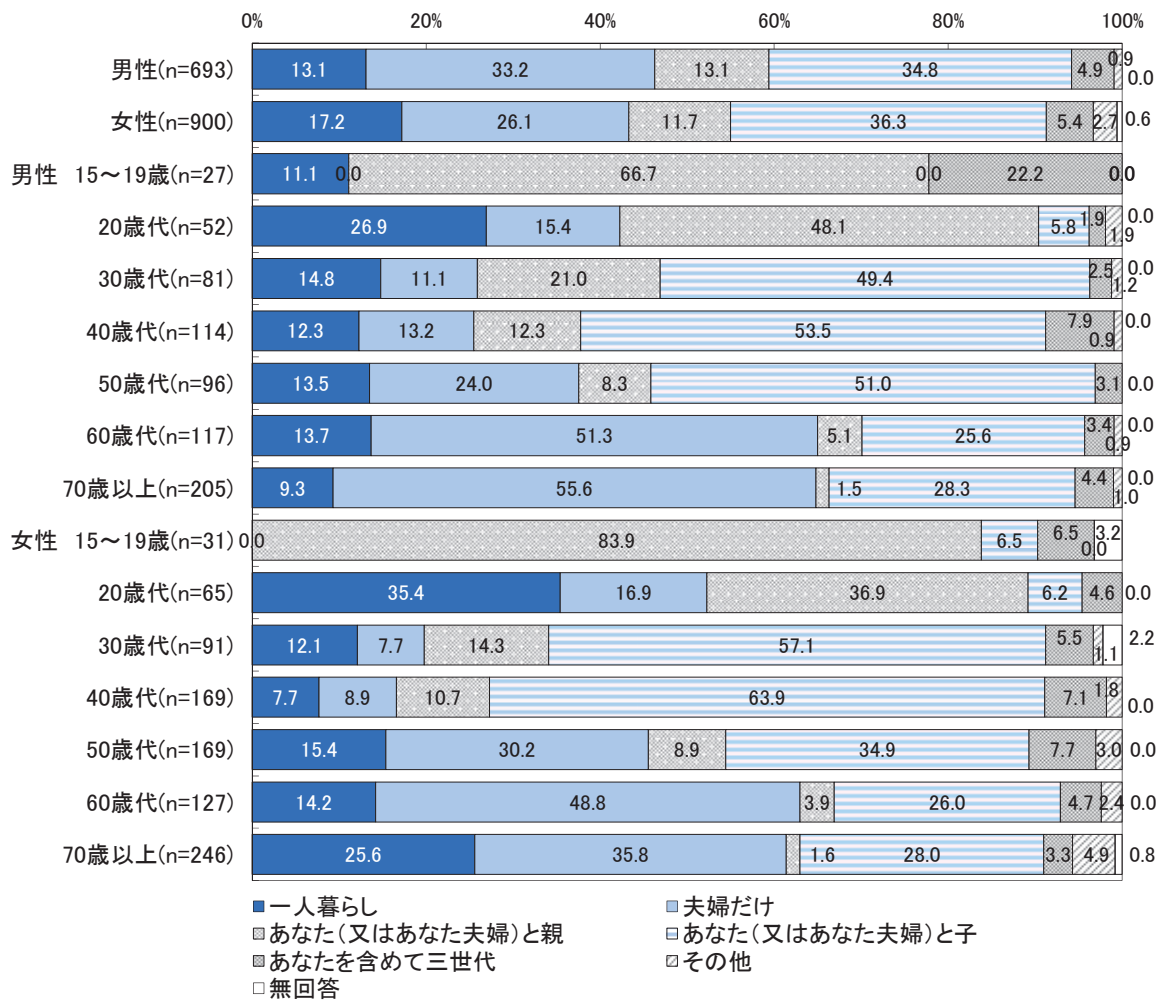
	回答数	割合
1人(自分だけ)	253	15.7%
2人	558	34.6%
3人	391	24.3%
4人	263	16.3%
5人	99	6.1%
6人以上	38	2.4%
無回答	9	0.6%
全体	1,611	100.0%

(6) 家族構成

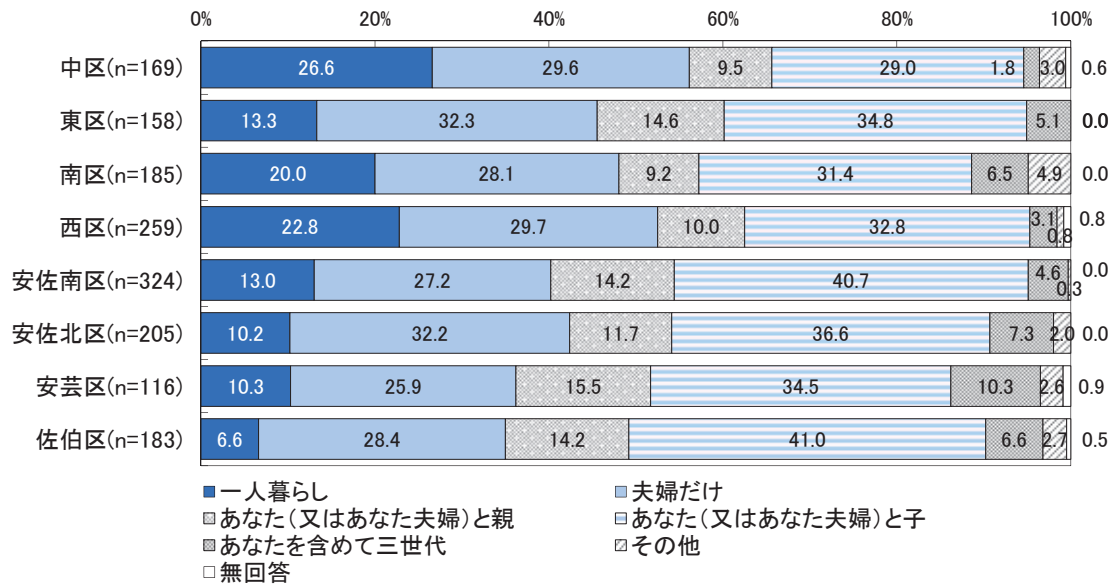


	回答数	割合
一人暮らし	249	15.5%
夫婦だけ	466	28.9%
あなた(又はあなた夫婦)と親	198	12.3%
あなた(又はあなた夫婦)と子	570	35.4%
あなたを含めて三世代	85	5.3%
その他	30	1.9%
無回答	13	0.8%
全体	1,611	100.0%

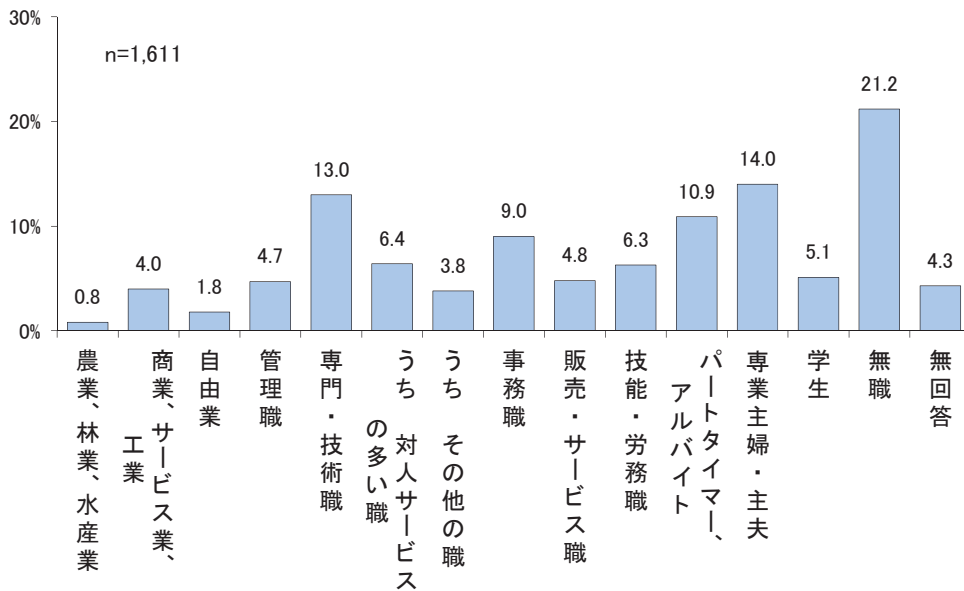
(性別、性・年齢別)



(居住区別)



(7) 就業状況



	農業、林業、水産業	商業、サービス業、工業	自由業	管理職	専門・技術職		事務職	
					うち 対人サービスの多い職	うち その他の職		
回答数	13	65	29	76	210	103	62	145
割合	0.8%	4.0%	1.8%	4.7%	13.0%	6.4%	3.8%	9.0%

	販売・サービス職	技能・労務職	パートタイマー、アルバイト	専業主婦・主夫	学生	無職	無回答	全体
回答数	77	101	176	225	82	342	70	1,611
割合	4.8%	6.3%	10.9%	14.0%	5.1%	21.2%	4.3%	100.0%

## (性別、性・年齢別)

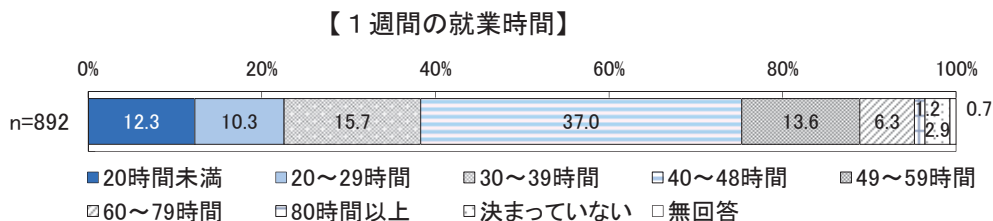
	回答数	農業、林業、水産業	商業、サービス業、工業	自由業	管理職	専門・技術職	事務職		
							うち 対人サービスの多い職	うち その他の職	
男性	693	1.3%	4.8%	1.9%	10.0%	14.4%	3.3%	7.8%	6.6%
女性	900	0.4%	3.6%	1.8%	0.7%	12.1%	8.8%	0.9%	10.9%
男性 15～19歳	27	-	-	-	-	3.7%	3.7%	-	-
20歳代	52	-	3.8%	1.9%	1.9%	19.2%	3.8%	13.5%	9.6%
30歳代	81	-	3.7%	2.5%	8.6%	33.3%	9.9%	16.0%	13.6%
40歳代	114	0.9%	7.0%	0.9%	15.8%	25.4%	5.3%	14.9%	9.6%
50歳代	96	-	6.3%	2.1%	22.9%	21.9%	3.1%	12.5%	9.4%
60歳代	117	2.6%	4.3%	2.6%	16.2%	7.7%	2.6%	3.4%	8.5%
70歳以上	205	2.4%	4.4%	2.0%	1.0%	1.5%	-	0.5%	-
女性 15～19歳	31	-	3.2%	-	-	3.2%	3.2%	-	-
20歳代	65	-	1.5%	-	-	24.6%	21.5%	3.1%	21.5%
30歳代	91	-	2.2%	-	-	16.5%	11.0%	3.3%	19.8%
40歳代	169	-	5.9%	3.0%	0.6%	20.7%	14.8%	1.2%	17.2%
50歳代	169	-	3.6%	4.7%	2.4%	15.4%	10.1%	0.6%	18.3%
60歳代	127	1.6%	4.7%	2.4%	0.8%	9.4%	7.1%	-	3.1%
70歳以上	246	0.8%	2.4%	-	-	1.6%	1.2%	-	0.8%

	回答数	販売・サービス職	技能・労務職	パートタイマー、アルバイト	専業主婦・主夫	学生	無職	無回答
男性	693	4.8%	12.7%	3.8%	1.2%	5.8%	28.7%	4.2%
女性	900	4.7%	1.3%	16.7%	23.6%	4.6%	15.3%	4.4%
男性 15～19歳	27	-	-	3.7%	-	92.6%	-	-
20歳代	52	3.8%	17.3%	3.8%	-	28.8%	7.7%	1.9%
30歳代	81	8.6%	16.0%	1.2%	-	-	8.6%	3.7%
40歳代	114	9.6%	21.1%	1.8%	-	-	5.3%	2.6%
50歳代	96	6.3%	17.7%	1.0%	1.0%	-	8.3%	3.1%
60歳代	117	6.0%	11.1%	8.5%	0.9%	-	26.5%	5.1%
70歳以上	205	-	5.9%	4.4%	2.9%	-	69.3%	6.3%
女性 15～19歳	31	-	-	-	3.2%	90.3%	-	-
20歳代	65	15.4%	1.5%	-	4.6%	16.9%	13.8%	-
30歳代	91	7.7%	-	24.2%	25.3%	-	2.2%	2.2%
40歳代	169	7.1%	1.8%	23.1%	13.6%	0.6%	2.4%	4.1%
50歳代	169	4.1%	1.8%	23.1%	17.8%	0.6%	3.6%	4.7%
60歳代	127	4.7%	2.4%	26.8%	29.9%	-	11.0%	3.1%
70歳以上	246	-	0.8%	6.5%	37.4%	-	41.9%	7.7%

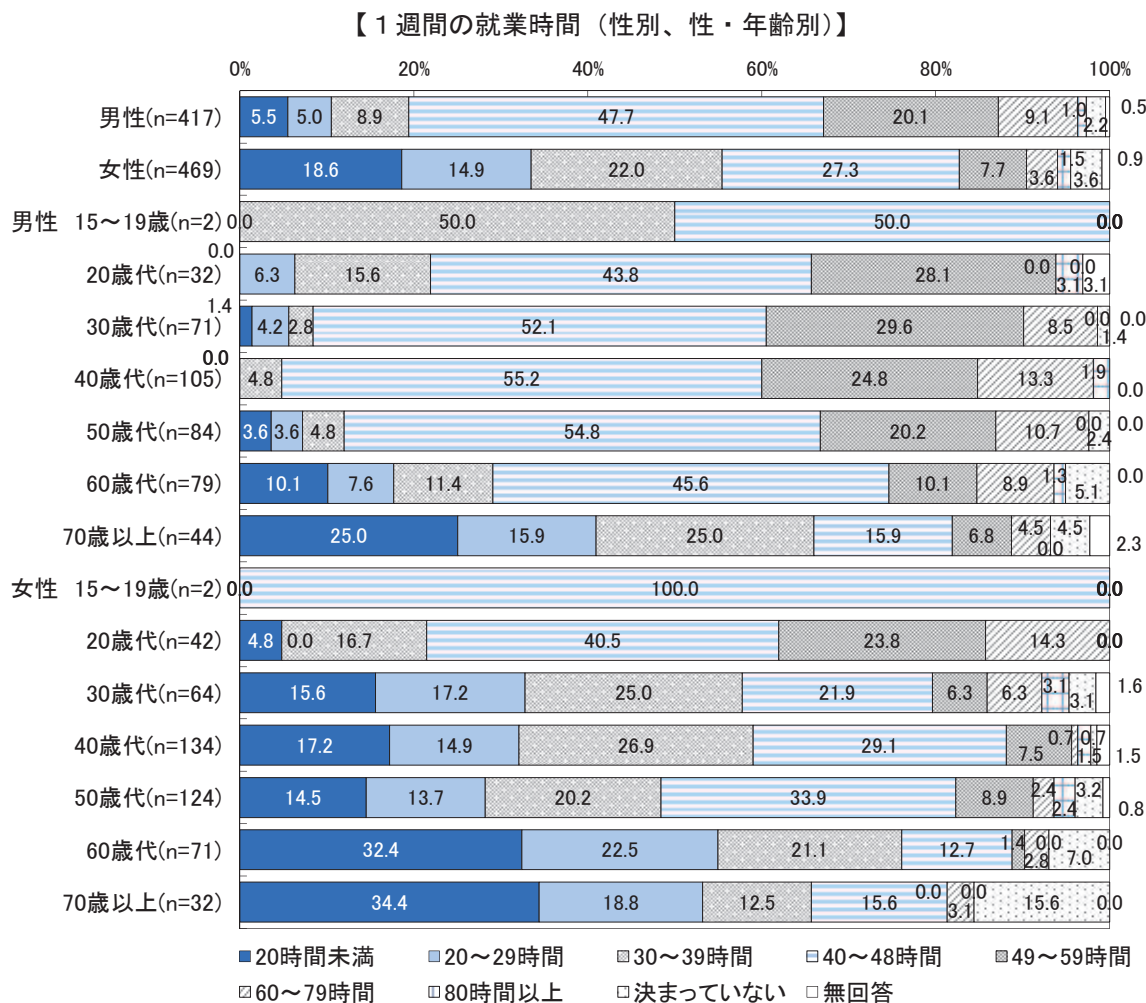
## 2 1週間の就業時間

問7で「1～9」と回答した人のみ回答

問8 あなたのふだん1週間の就業時間はどのくらいですか。ふだん残業や副業をしている場合は、それを含めた1週間の合計について記入してください。



1週間の就業時間について、「40～48時間」と回答した人の割合が37.0%、「49～59時間」と回答した人の割合が13.6%、「60～79時間」と回答した人の割合が6.3%、「80時間以上」と回答した人の割合が1.2%となっている。

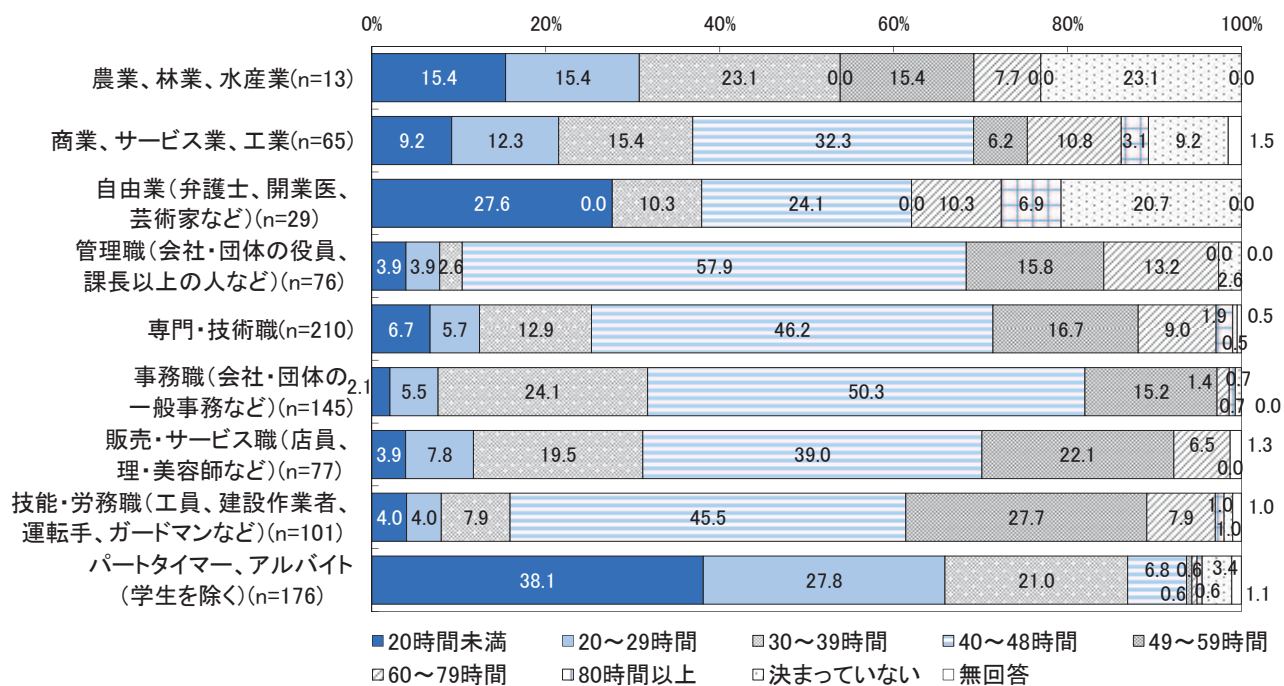


性別にみると、『49時間以上』と回答した人の割合は、男性で3割台、女性で1割台となっている。

性・年齢別にみると、『49時間以上』と回答した人の割合は、男性30歳代、女性20歳代で3割台後半、男性40歳代で4割となっている。



【1週間の就業時間（就業状況別）】



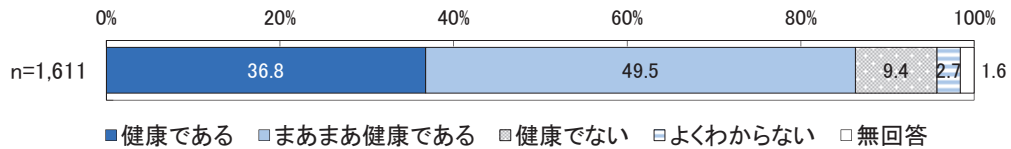
就業状況別にみると、『49 時間以上』と回答した人の割合は、「管理職（会社・団体の役員、課長以上の人など）」、「専門・技術職」で2割台後半、「技能・労務職（工員、建設作業員、運転手、ガードマンなど）」で3割台後半となっている。

### 3 ころやからだの状態

#### (1) 現在の健康状態

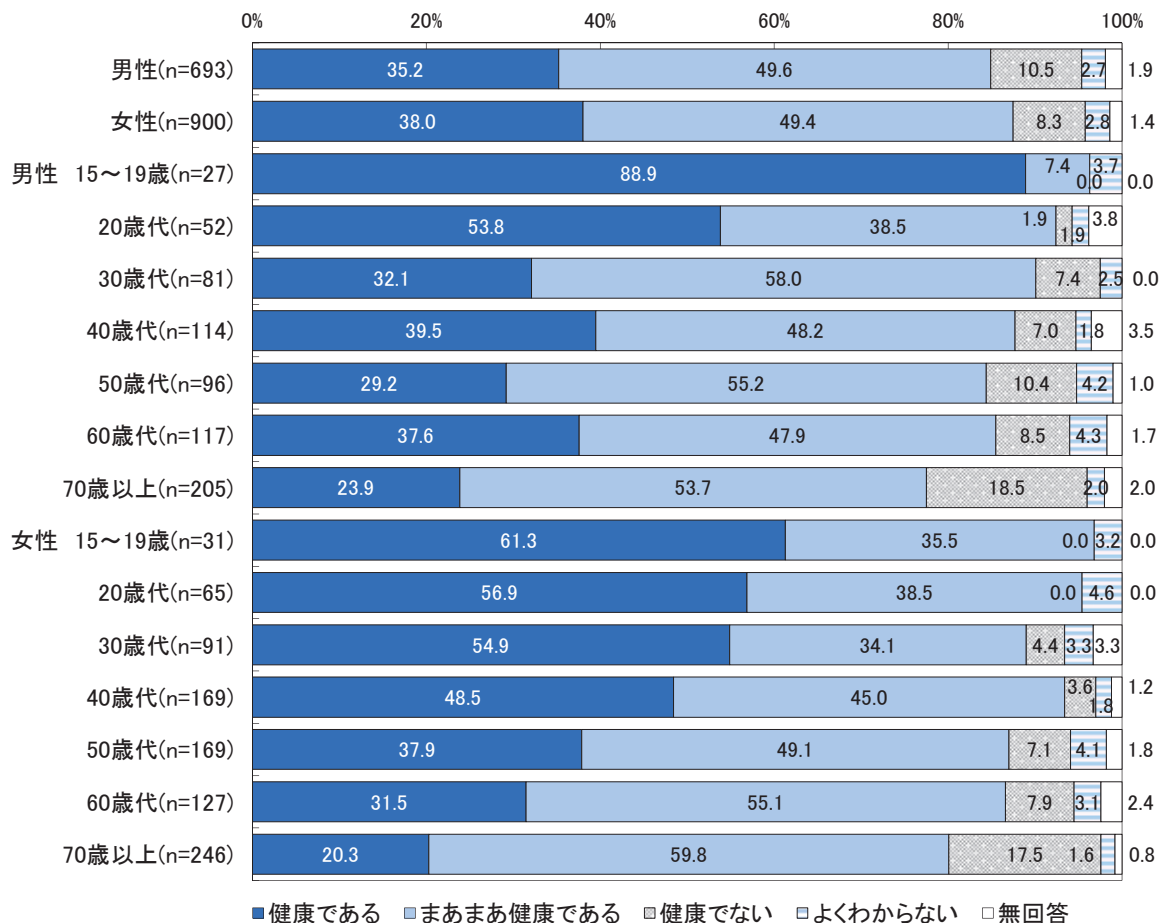
問9 あなたの現在の健康状態はいかがですか。

【現在の健康状態】



現在の健康状態について、『健康である』（「健康である」＋「まあまあ健康である」）と回答した人の割合が86.3%、「健康でない」と回答した人の割合が9.4%となっている。

【現在の健康状態（性別、性・年齢別）】

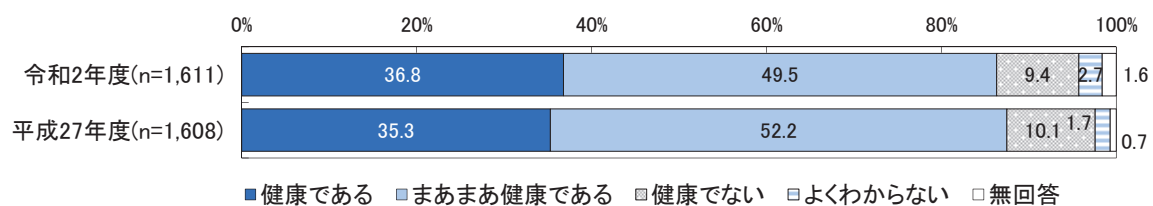


性別にみると、「健康でない」と回答した人の割合は、大きな差はみられない。

性・年齢別にみると、「健康でない」と回答した人の割合は、男女ともに70歳以上で1割台後半となっている。



【現在の健康状態（前回調査結果との比較）】

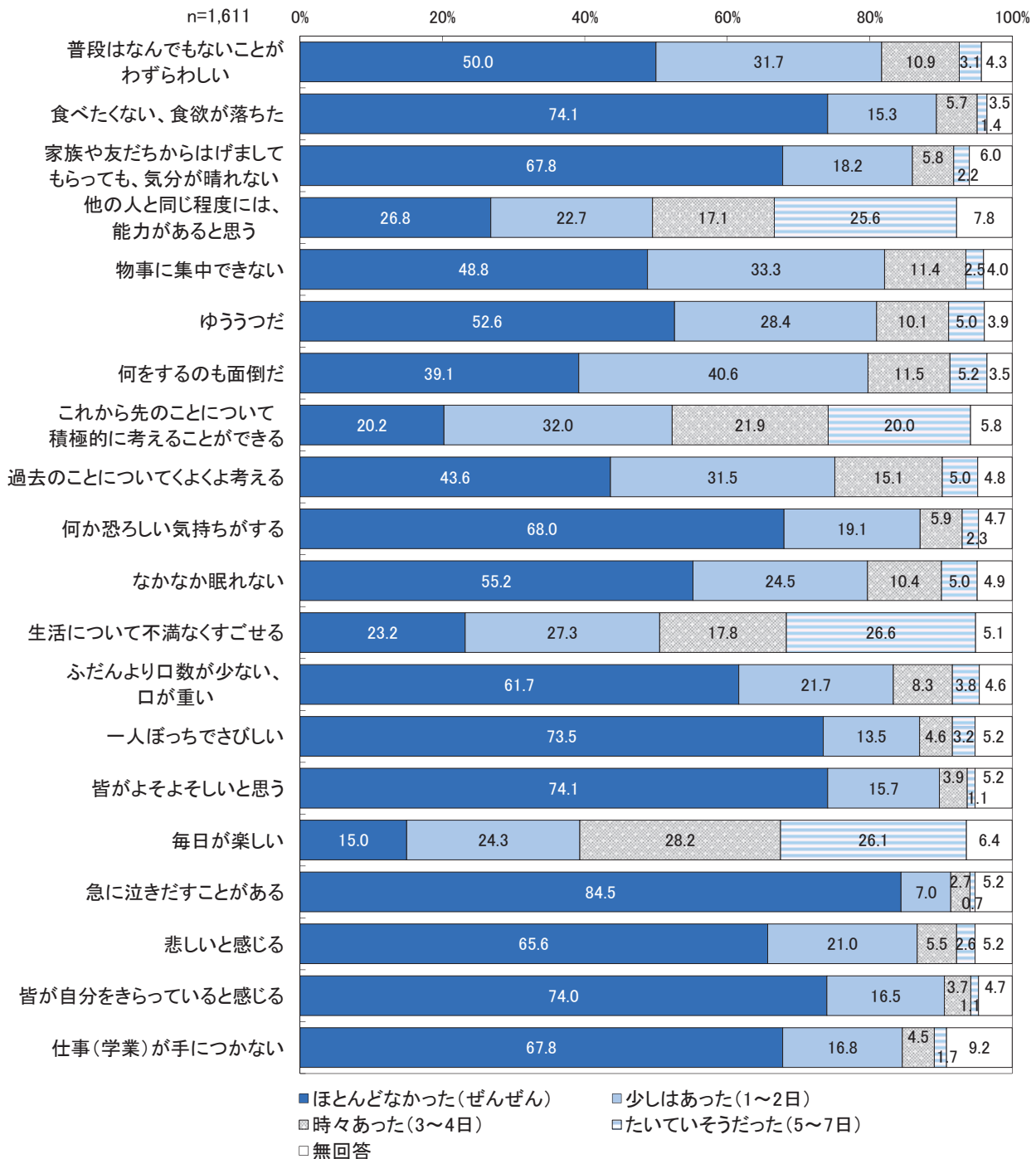


前回調査結果と比較すると、『健康である』と回答した人の割合は、大きな変化はみられない。

(2) この1週間のからだやこころの状態

問 10 この1週間のあなたのからだやこころの状態についてお伺いします。

【この1週間のからだやこころの状態】



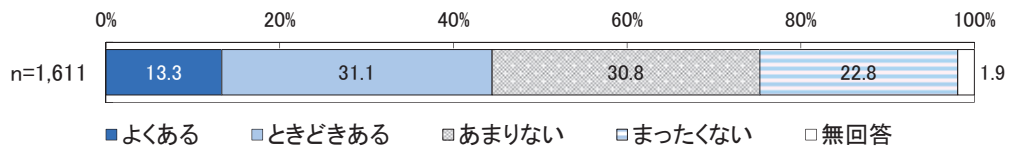
この1週間のからだやこころの状態について、マイナス要素の項目で『あった』（「少しはあった（1～2日）」＋「時々あった（3～4日）」＋「たいていそうだった（5～7日）」）と回答した人の割合は、「何をするのも面倒だ」、「過去のことについてくよくよ考える」において5割を超えている。

## 4 町内や地域の人との交流

### (1) 町内や地域の人との交流機会

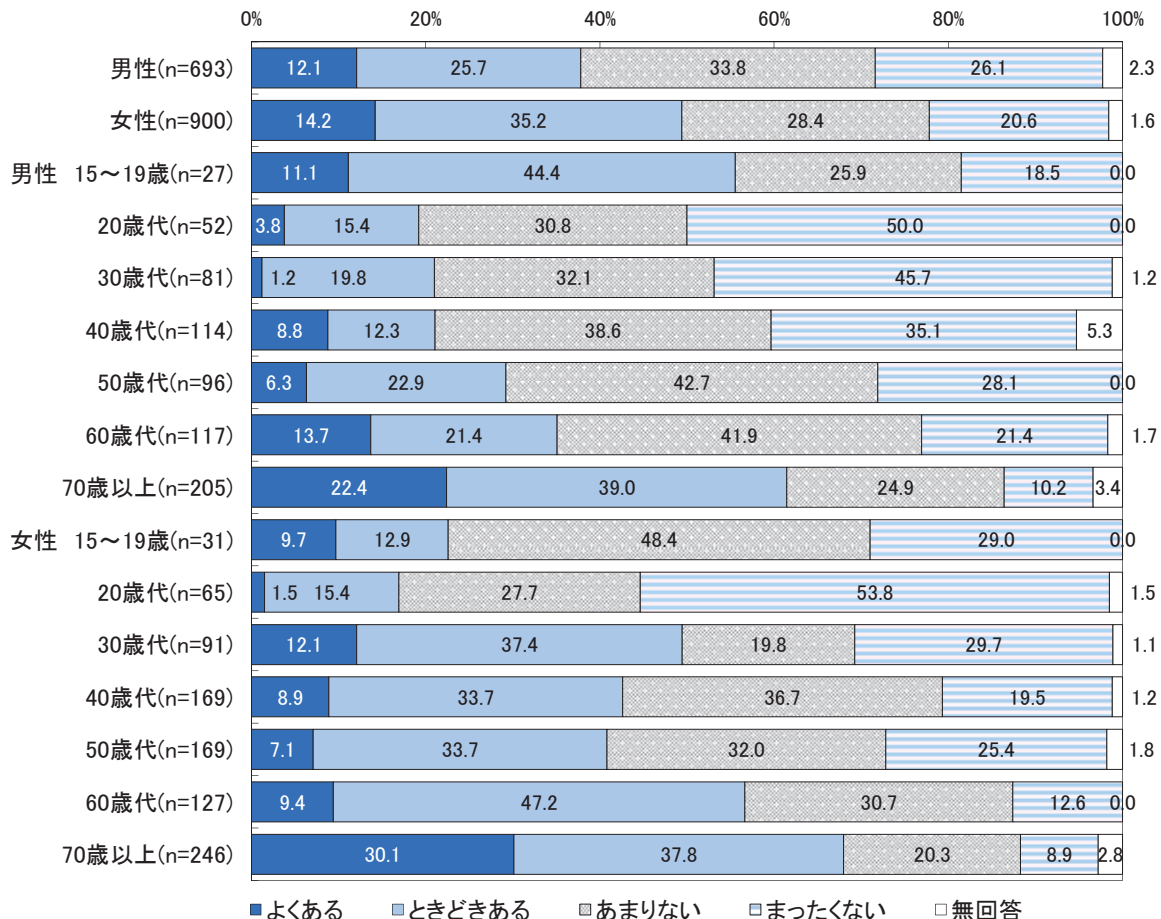
問 13 あなたは、町内や地域の人と話をしたり交流する機会がありますか。

【町内や地域の人との交流機会の有無】



町内や地域の人との交流機会の有無について、『ある』（「よくある」＋「ときどきある」）と回答した人の割合が 44.4%、『ない』（「まったくない」＋「あまりない」）と回答した人の割合が 53.6%となっている。

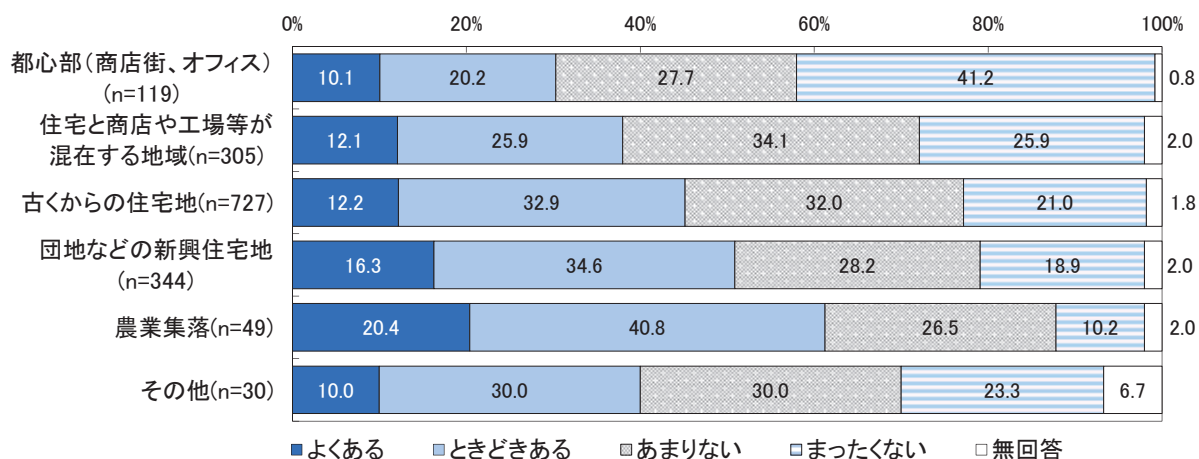
【町内や地域の人との交流機会の有無（性別、性・年齢別）】



性別にみると、『ある』と回答した人の割合は、女性で約5割となっているが、男性では3割台後半となっている。

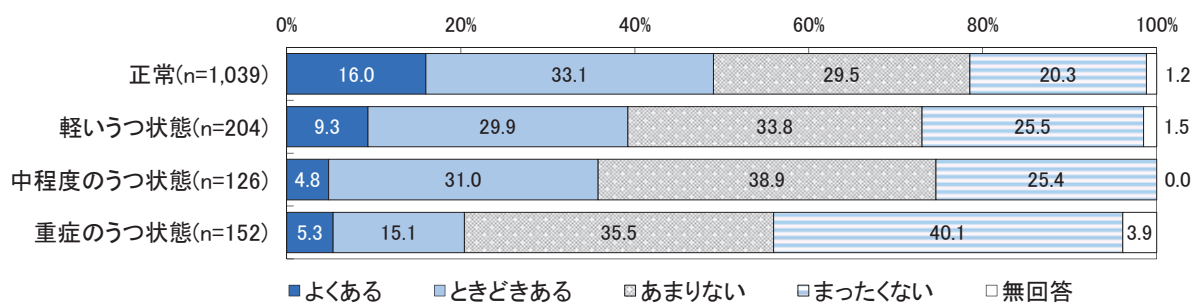
性・年齢別にみると、『ある』と回答した人の割合は、男女ともに70歳以上で6割を超えているが、男女ともに20歳代では2割に満たない。

【町内や地域の人との交流機会の有無（居住地域の状況別）】



居住地域の状況別にみると、『ある』と回答した人の割合は、農業集落で6割を超えているが、都心部(商店街、オフィス)、住宅と商店や工場等が混在する地域では3割台となっている。

【町内や地域の人との交流機会の有無（抑うつ尺度別）】

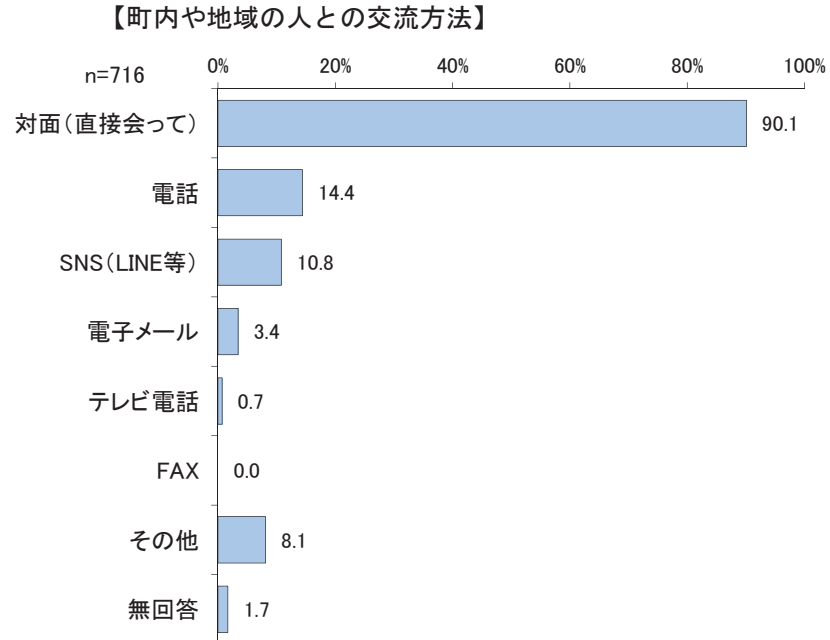


抑うつ尺度別にみると、『ない』と回答した人の割合は、うつ状態が重症なほど高くなっている。

(2) 町内や地域の人との交流方法

問 13 で「1 よくある」又は「2 ときどきある」と回答した人のみ回答

問 14 どのような方法で、町内や地域の人と話をしたり交流していますか。



町内や地域の人との交流方法について、「対面（直接会って）」と回答した人の割合が 90.1% と最も高く、「電話」（14.4%）、「SNS（LINE等）」（10.8%）が続いている。

**【町内や地域の人との交流方法（性別、性・年齢別）】**

	回答数	対面(直接会って)	電話	SNS(LINE等)	電子メール	テレビ電話	FAX	その他	無回答
男性	262	88.5%	10.3%	6.5%	2.3%	-	-	11.1%	0.8%
女性	445	91.2%	16.6%	13.5%	4.0%	1.1%	-	6.5%	2.2%
男性 15～19歳	15	93.3%	6.7%	13.3%	-	-	-	-	-
20歳代	10	70.0%	10.0%	-	10.0%	-	-	20.0%	-
30歳代	17	82.4%	11.8%	11.8%	5.9%	-	-	11.8%	-
40歳代	24	95.8%	12.5%	4.2%	4.2%	-	-	-	-
50歳代	28	96.4%	7.1%	7.1%	3.6%	-	-	-	-
60歳代	41	92.7%	7.3%	12.2%	2.4%	-	-	7.3%	-
70歳以上	126	85.7%	11.9%	4.0%	0.8%	-	-	17.5%	1.6%
女性 15～19歳	7	85.7%	-	14.3%	-	-	-	-	-
20歳代	11	90.9%	18.2%	18.2%	-	-	-	9.1%	-
30歳代	45	95.6%	-	22.2%	2.2%	2.2%	-	2.2%	-
40歳代	72	94.4%	6.9%	20.8%	4.2%	1.4%	-	2.8%	-
50歳代	69	88.4%	14.5%	21.7%	11.6%	2.9%	-	8.7%	1.4%
60歳代	72	97.2%	16.7%	9.7%	2.8%	-	-	1.4%	1.4%
70歳以上	167	88.0%	26.9%	6.0%	2.4%	0.6%	-	10.8%	4.2%

性別にみると、「対面（直接会って）」と回答した人の割合は、男性で8割台後半、女性で9割割台前半となっている。

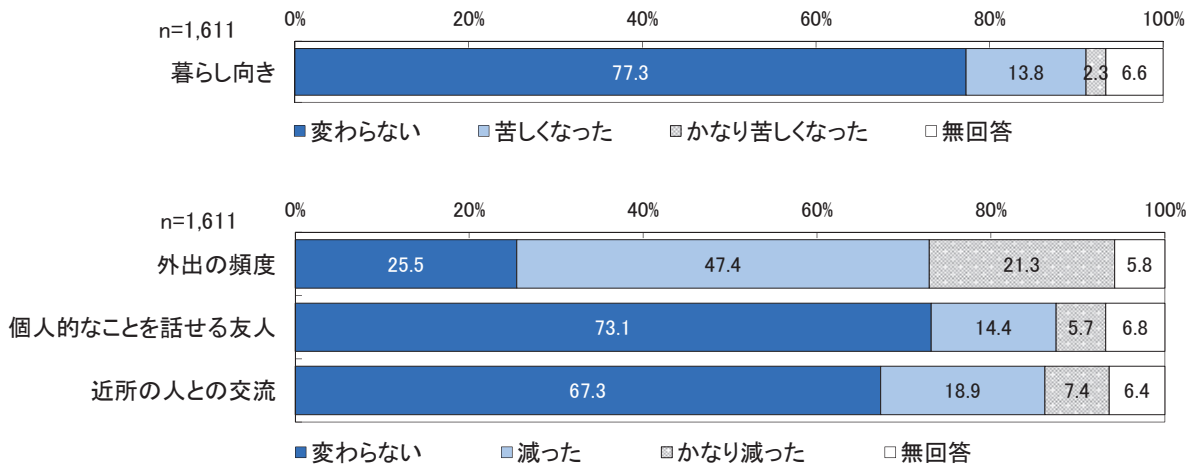
性・年齢別にみると、「電話」と回答した人の割合は、女性70歳以上で2割台後半となっている。

## 5 新型コロナウイルス感染症の流行による変化

### (1) 新型コロナウイルス感染症の流行による、生活や人とのつながりの変化の有無

問 15 新型コロナウイルス感染症の流行により、生活や人とのつながりに変化があったかをおたずねします。

【新型コロナウイルス感染症の流行による、生活や人とのつながりの変化の有無】



新型コロナウイルス感染症の流行による、生活や人とのつながりの変化の有無について、暮らし向きが『苦しくなった』（「かなり苦しくなった」＋「苦しくなった」）と回答した人の割合は16.1%となっている。

外出の頻度が『減った』（「かなり減った」＋「減った」）と回答した人の割合は68.7%となっている。

個人的なことを話せる友人が『減った』（「かなり減った」＋「減った」）と回答した人の割合は20.1%となっている。

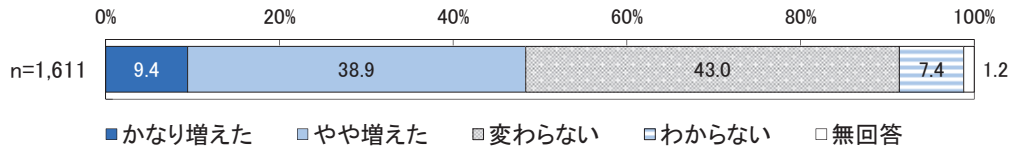
近所の人との交流が『減った』（「かなり減った」＋「減った」）と回答した人の割合は26.3%となっている。



(2) 新型コロナウイルス感染症の流行により、ゆううつな気分になること

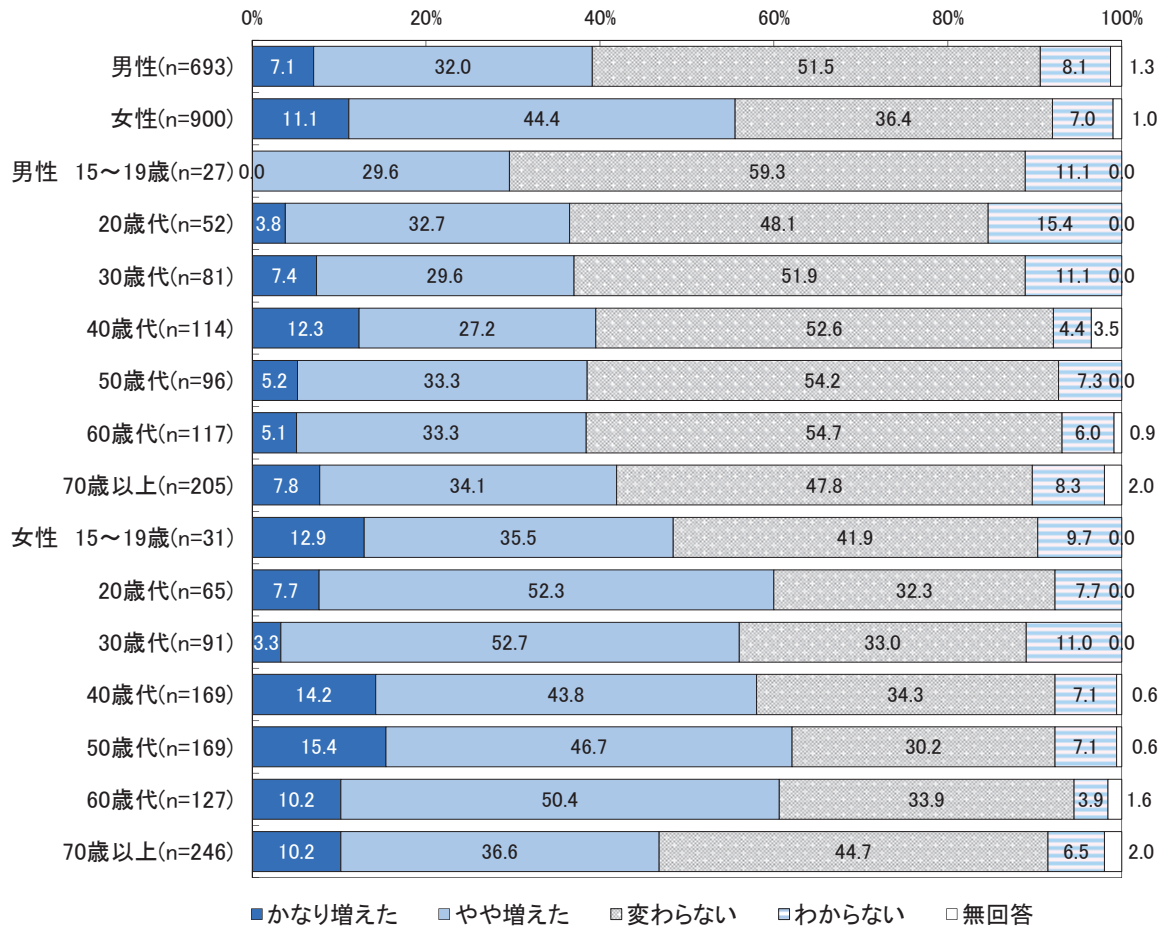
問 17 新型コロナウイルス感染症の流行により、ゆううつな気分になることが増えましたか。

【新型コロナウイルス感染症の流行により、ゆううつな気分になること】



新型コロナウイルス感染症の流行により、ゆううつな気分になることが『増えた』（「かなり増えた」＋「やや増えた」）と回答した人の割合が 48.3%となっている。

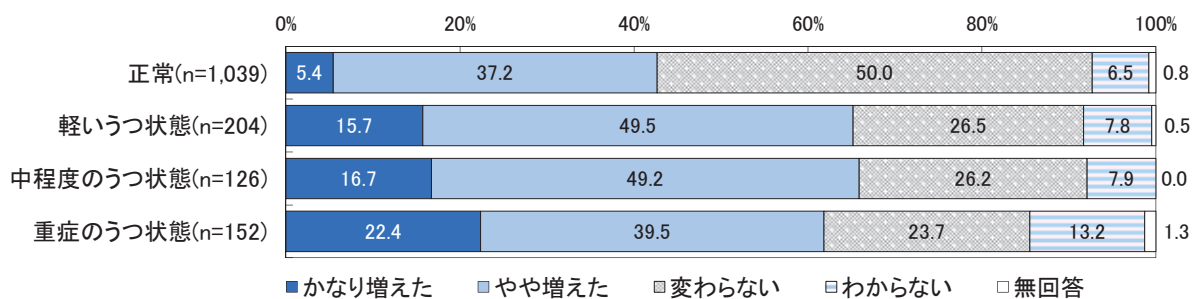
【新型コロナウイルス感染症の流行により、ゆううつな気分になること（性別、性・年齢別）】



性別にみると、ゆううつな気分になることが『増えた』と回答した人の割合は、男性で約4割、女性で5割台となっている。

性・年齢別にみると、ゆううつな気分になることが『増えた』と回答した人の割合は、女性20歳代、女性50歳代、女性60歳代で6割台となっている。

【新型コロナウイルス感染症の流行により、ゆううつな気分になること（抑うつ尺度別）】

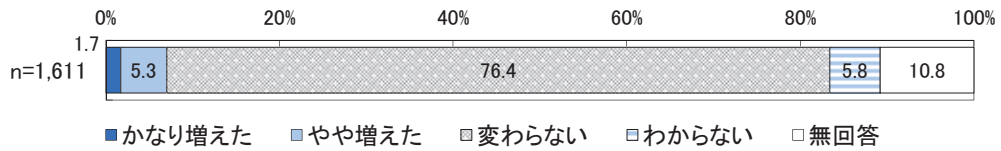


抑うつ尺度別にみると、ゆううつな気分になることが『増えた』と回答した人の割合は、軽症～重症のうつ状態に該当する人で6割を超えている。

(3) 新型コロナウイルス感染症の流行による飲酒量の変化

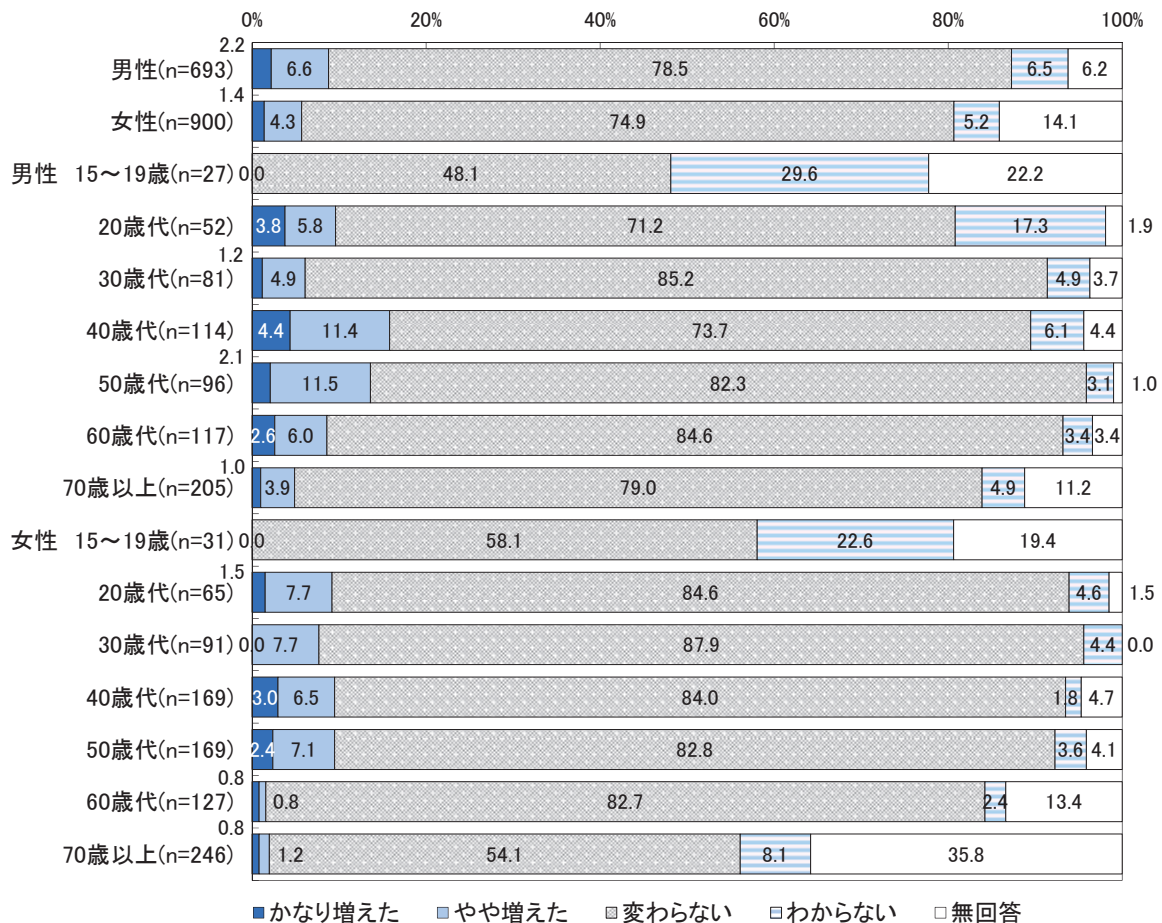
問 18 新型コロナウイルス感染症の流行により、飲酒の量が増えましたか。

【新型コロナウイルス感染症の流行による飲酒量の変化】



新型コロナウイルス感染症の流行による飲酒量の変化について、『増えた』（「かなり増えた」＋「やや増えた」）と回答した人の割合が7.0%となっている。

【新型コロナウイルス感染症の流行による飲酒量の変化（性別、性・年齢別）】



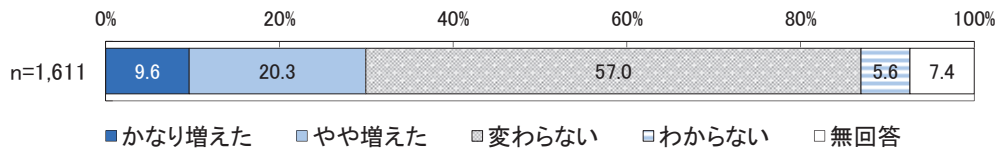
性別にみると、『増えた』と回答した人の割合は、大きな差はみられない。

性・年齢別にみると、『増えた』と回答した人の割合は、男性40歳代、男性50歳代で1割を超えている。

(4) 新型コロナウイルス感染症の流行によるゲームやインターネットの利用時間の変化

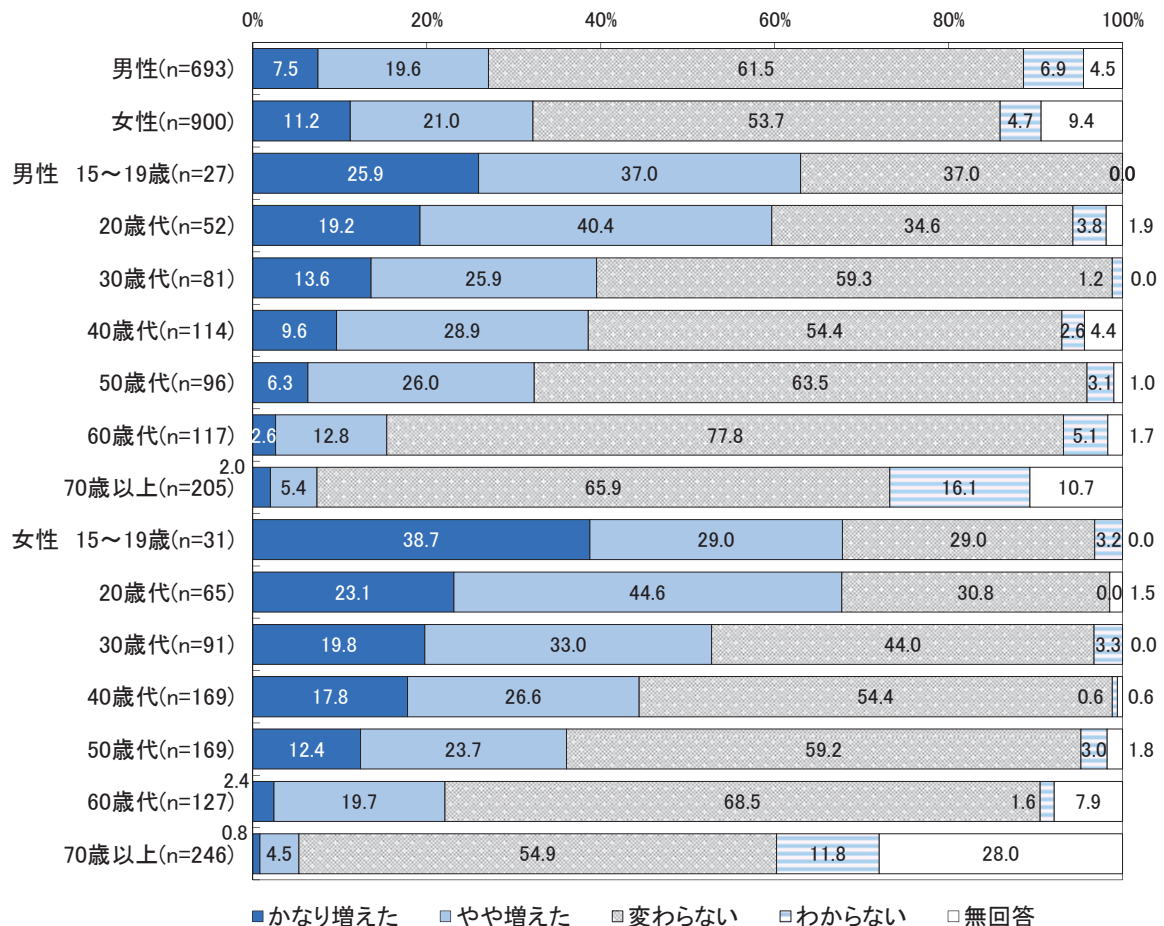
問 19 新型コロナウイルス感染症の流行により、ゲームやインターネットをする時間が増えましたか。

【新型コロナウイルス感染症の流行によるゲームやインターネットの利用時間の変化】



新型コロナウイルス感染症の流行によるゲームやインターネットの利用時間の変化について、『増えた』（「かなり増えた」＋「やや増えた」）と回答した人の割合が 29.9%となっている。

【新型コロナウイルス感染症の流行によるゲームやインターネットの利用時間の変化（性別、性・年齢別）】



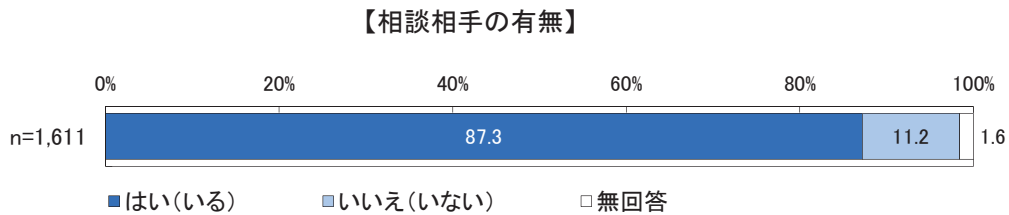
性別にみると、『増えた』と回答した人の割合は、男性は2割台後半、女性は3割台となっている。

性・年齢別にみると、『増えた』と回答した人の割合は、男女ともに年齢が若いほど高くなっており、男性15～19歳、女性15～19歳、女性20歳代で6割を超えている。

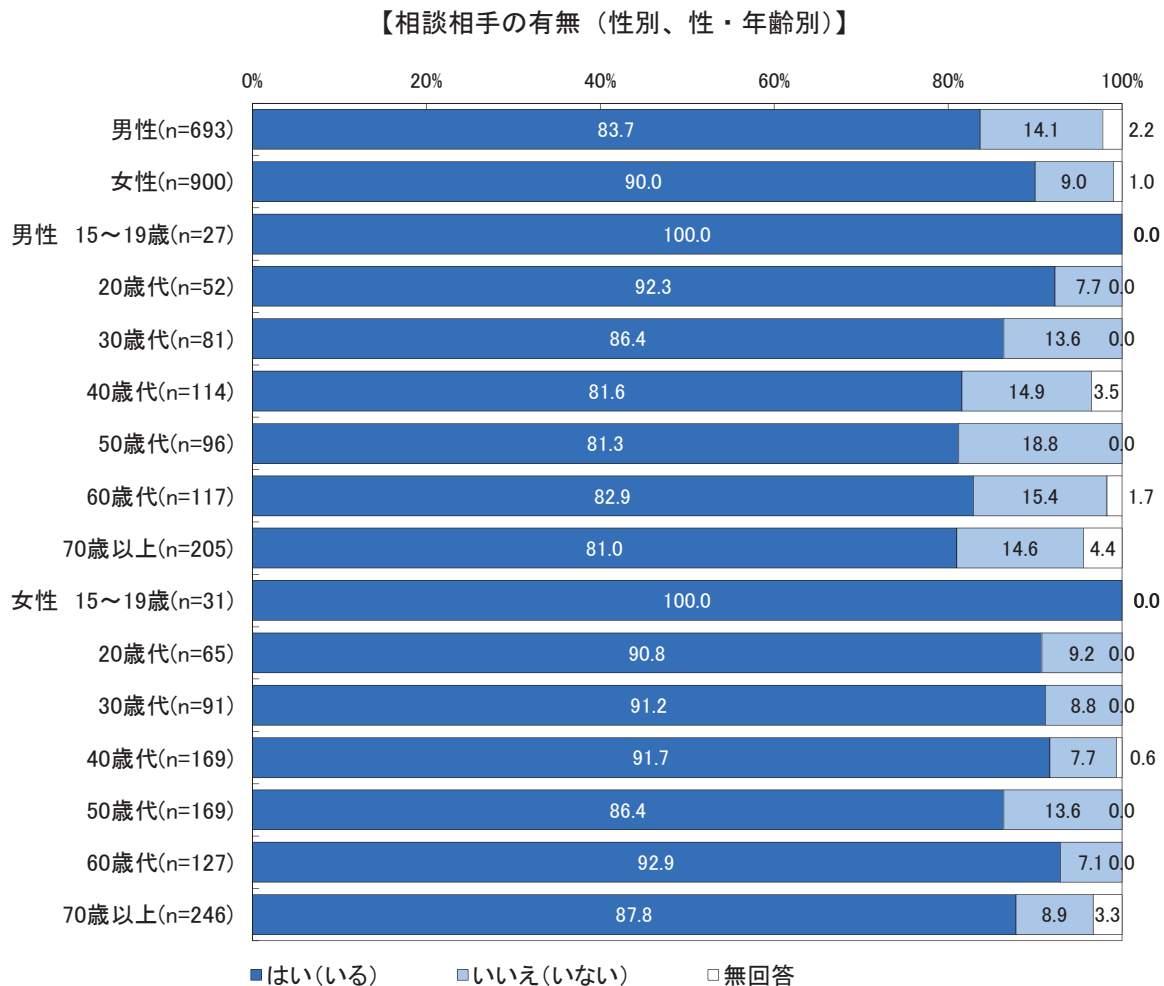
## 6 心配ごとなどの相談相手

### (1) 相談相手の有無

問 16 あなたの心配ごとや悩みごとを相談できる人がいますか。



相談相手の有無について、「はい(いる)」と回答した人の割合が87.3%、「いいえ(いない)」と回答した割合が11.2%となっている。

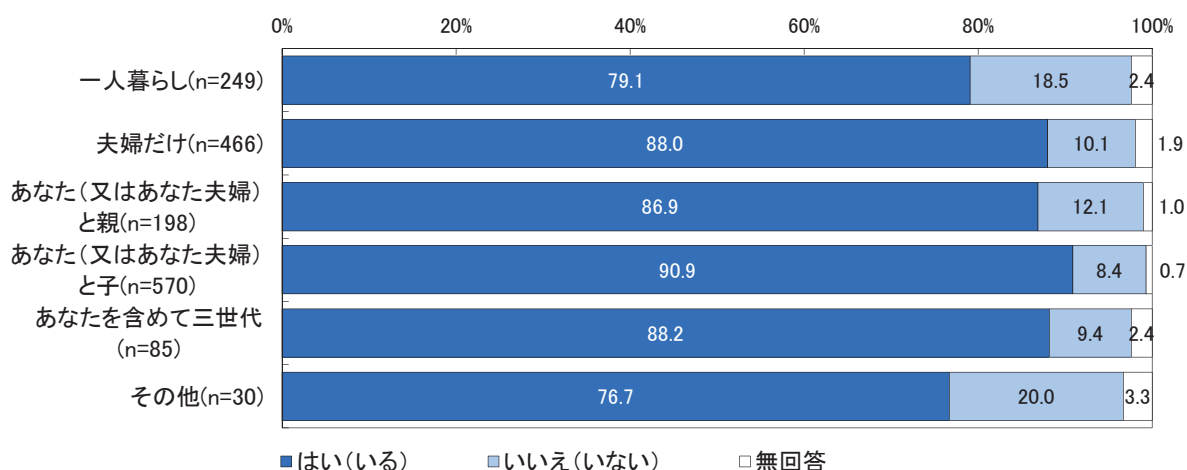


性別にみると、「いいえ(いない)」と回答した人の割合は、男性で1割台前半、女性で約1割となっている。

性・年齢別にみると、「いいえ(いない)」と回答した人の割合は、男性50歳代、男性60歳代で1割台後半となっている。

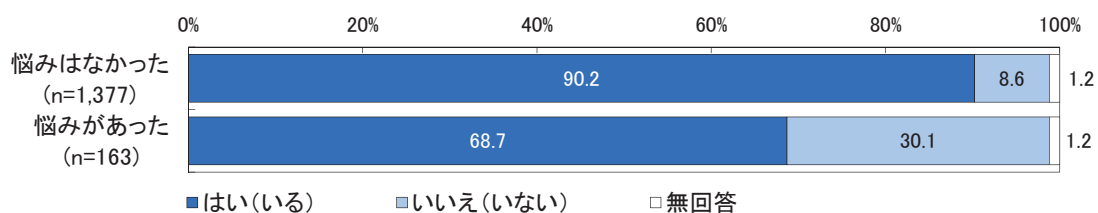


【相談相手の有無（家族構成別）】



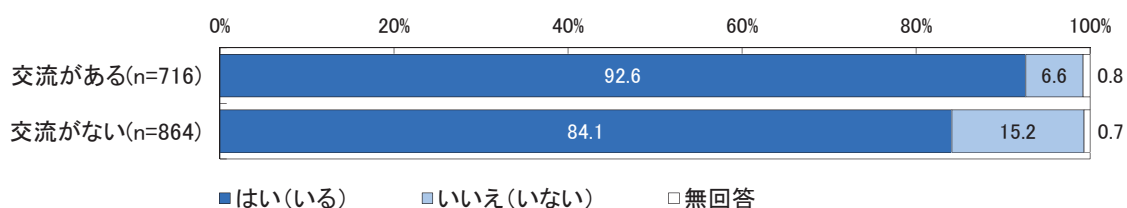
家族構成別にみると、「いいえ（いない）」と回答した人の割合は、一人暮らし世帯で1割台後半となっている。

【相談相手の有無（死にたいと思うほどの悩みやストレスの有無別）】



死にたいと思うほどの悩みやストレスの有無別にみると、悩みがあった人では、「いいえ（いない）」と回答した人の割合は約3割となっている。

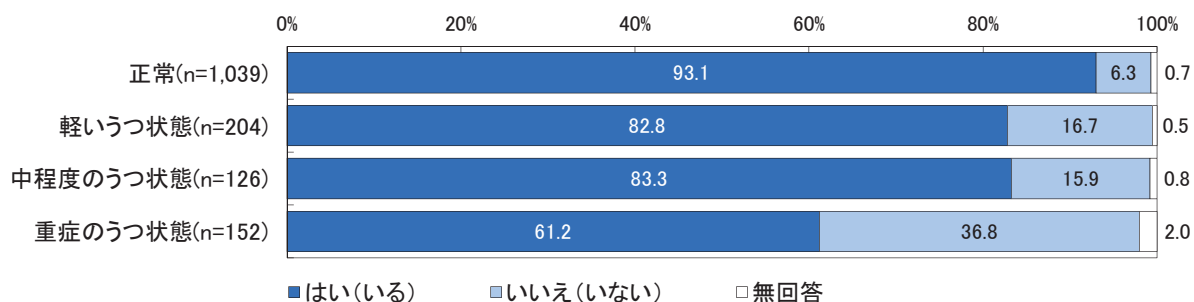
【相談相手の有無（町内や地域の人との交流機会の有無別）】



町内や地域の人との交流機会の有無別にみると、交流がない人では、「いいえ（いない）」と回答した人の割合は1割台半ばとなっている。

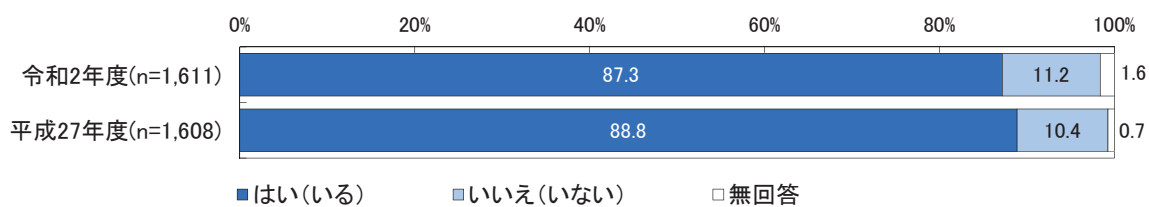


【相談相手の有無（抑うつ尺度別）】



抑うつ尺度別にみると、重症のうつ状態に該当する人では、「いいえ（いない）」と回答した人の割合は3割台後半となっている。

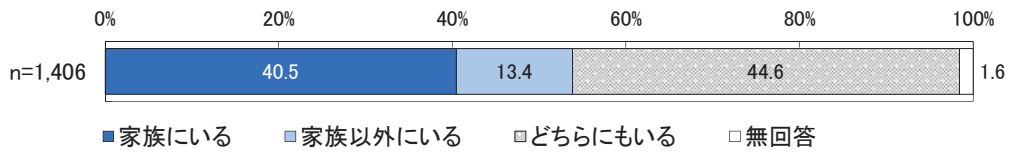
【相談相手の有無（前回調査結果との比較）】



前回調査結果と比較すると、「はい（いる）」と回答した人の割合は、大きな変化はみられない。

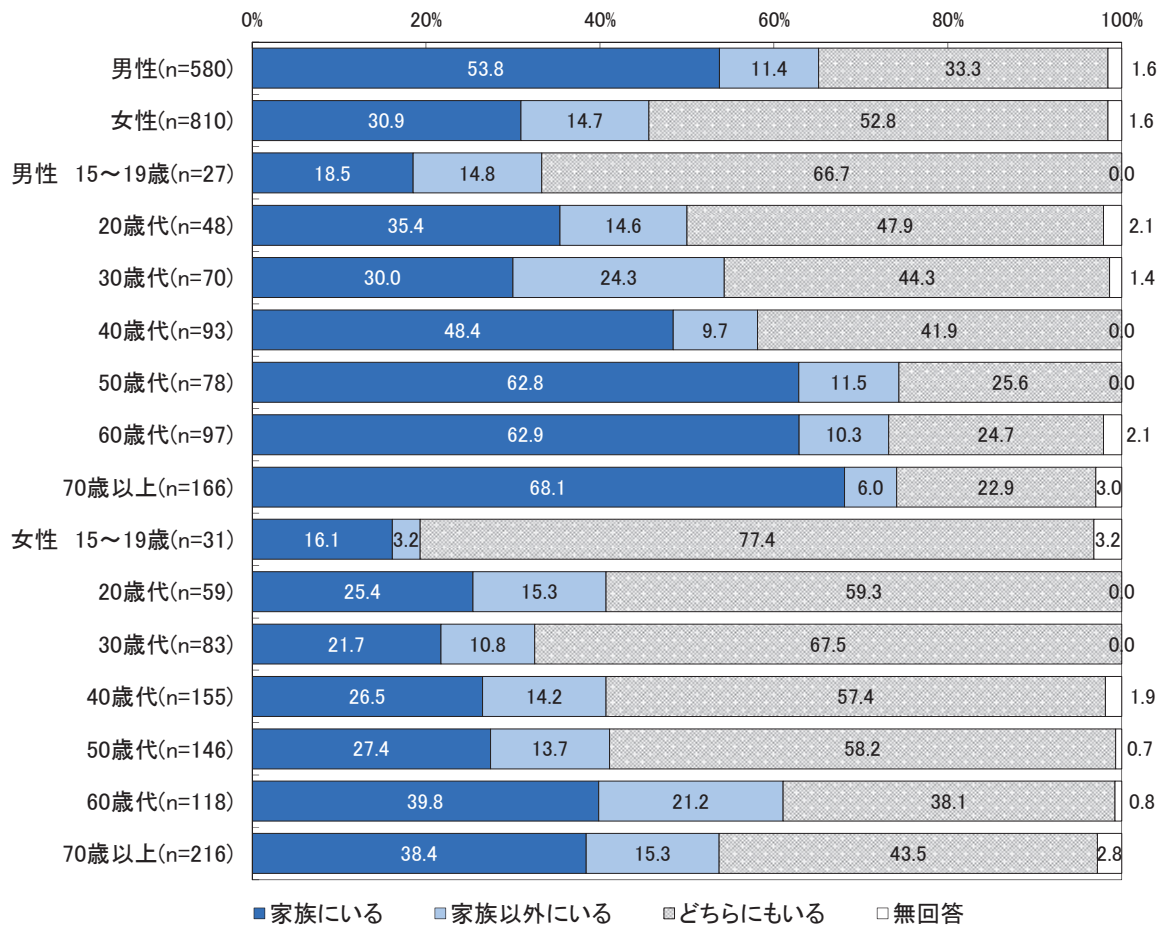
(2) 相談相手

【相談相手】



相談相手が「はい (いる)」の回答者における相談相手について、「家族にいる」と回答した人の割合が40.5%、「家族以外にいる」と回答した人の割合が13.4%、「どちらにもいる」と回答した人の割合が44.6%となっている。

【相談相手 (性別、性・年齢別)】



性別にみると、「家族にいる」と回答した人の割合は、男性で5割を超え、「どちらにもいる」と回答した人の割合は、女性で5割を超えている。

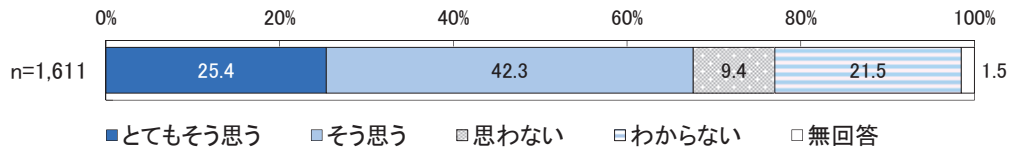
性・年齢別にみると、「家族にいる」と回答した人の割合は、男性50歳代、男性60歳代、男性70歳以上で6割を超え、「どちらにもいる」と回答した人の割合は、男性15～19歳、女性15～19歳、女性30歳代で6割を超えている。

## 7 うつ病に関する考え

### (1) うつ病と自殺（自死）の関連性

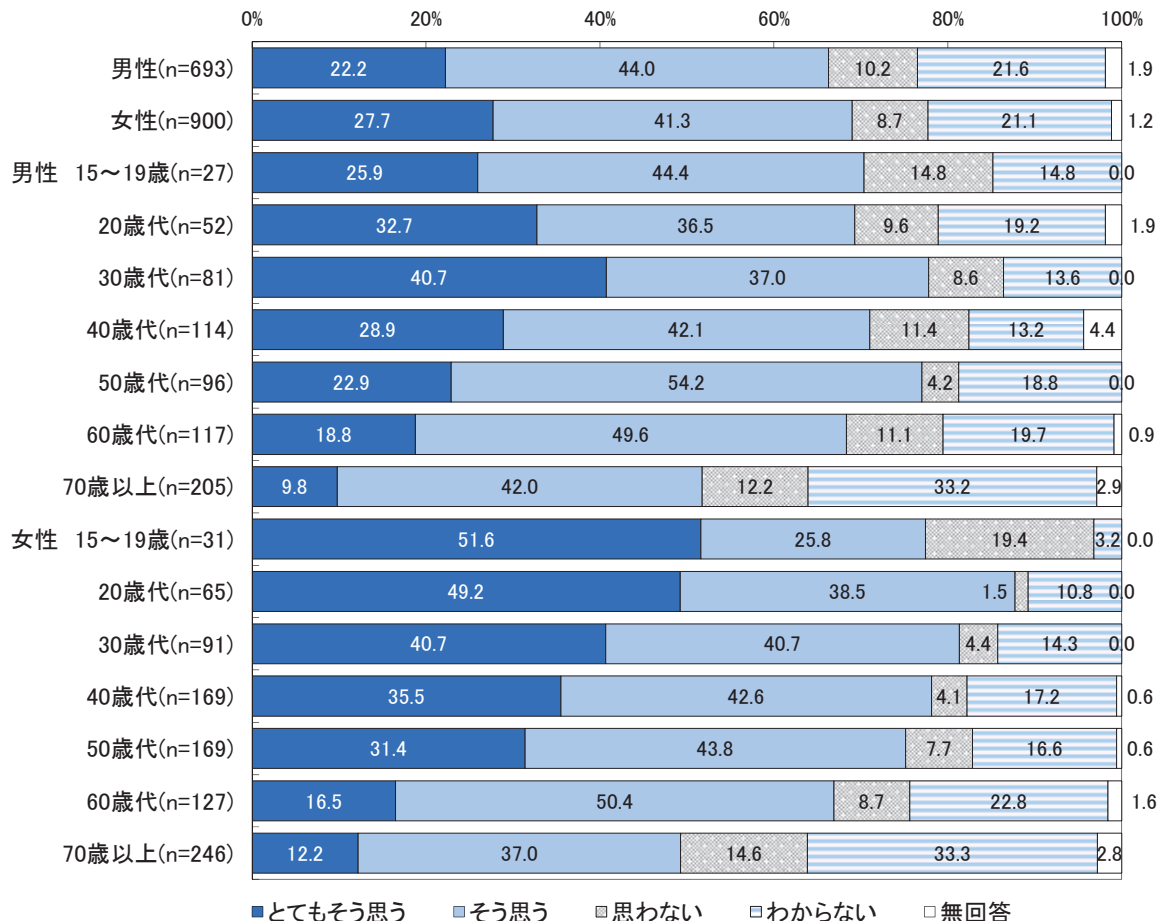
問 20 「うつ病」は自殺（自死）に強く関連していると思いますか。

【うつ病と自殺（自死）の関連性】



うつ病と自殺（自死）の関連性について、関連していると『思う』（「とてもそう思う」＋「そう思う」）と回答した人の割合が 67.7%、関連していると「思わない」と回答した人の割合が 9.4%となっている。

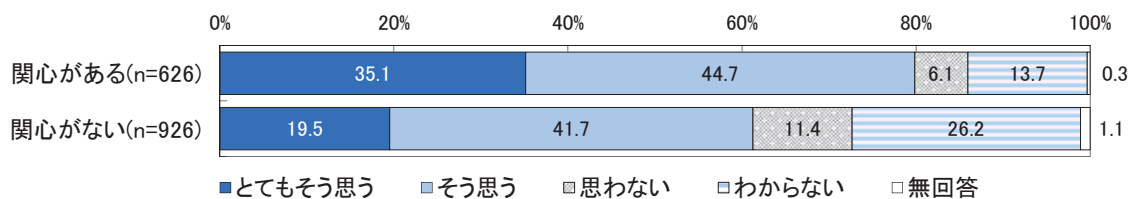
【うつ病と自殺（自死）の関連性（性別、性・年齢別）】



性別にみると、関連していると『思う』と回答した人の割合は、大きな差はみられない。

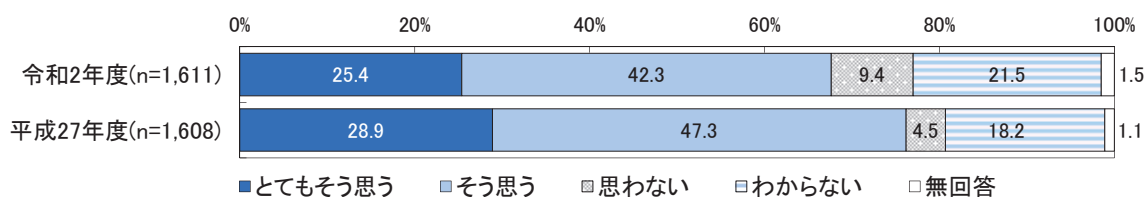
性・年齢別にみると、関連していると『思う』と回答した人の割合は、女性 20 歳代、女性 30 歳代で 8 割を超えているが、男女ともに 70 歳以上では 5 割前後となっている。

【うつ病と自殺（自死）の関連性（自殺（自死）対策への関心度別）】



自殺（自死）対策への関心度別にみると、関連していると『思う』と回答した人の割合は、関心がある人で約8割となっているが、関心がない人では6割前半となっている。

【うつ病と自殺（自死）の関連性（前回調査結果との比較）】



前回調査結果と比較すると、関連していると『思う』と回答した人の割合は、平成27年度調査よりも低下している。

(2) 家族や友人の状態について

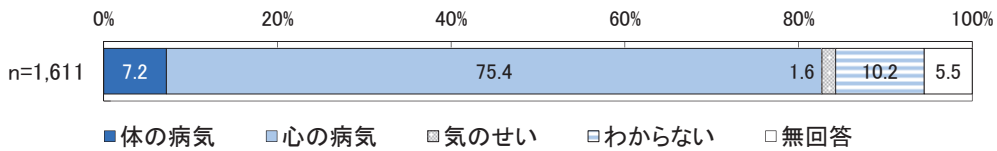
問 21 あなたの家族や友人のひとりが次のような状態になった場合を想定してお答えください。

「この2～3週間、食欲が無く眠れない日々が続き、体重が減ってきたようです。また、ふさぎ込むようになり、仕事に集中できなくなってしまいました。物事に対して興味がわかないようで、話しかけても返事に乏しく、悲観的な事を言っています。」

①その人の状態

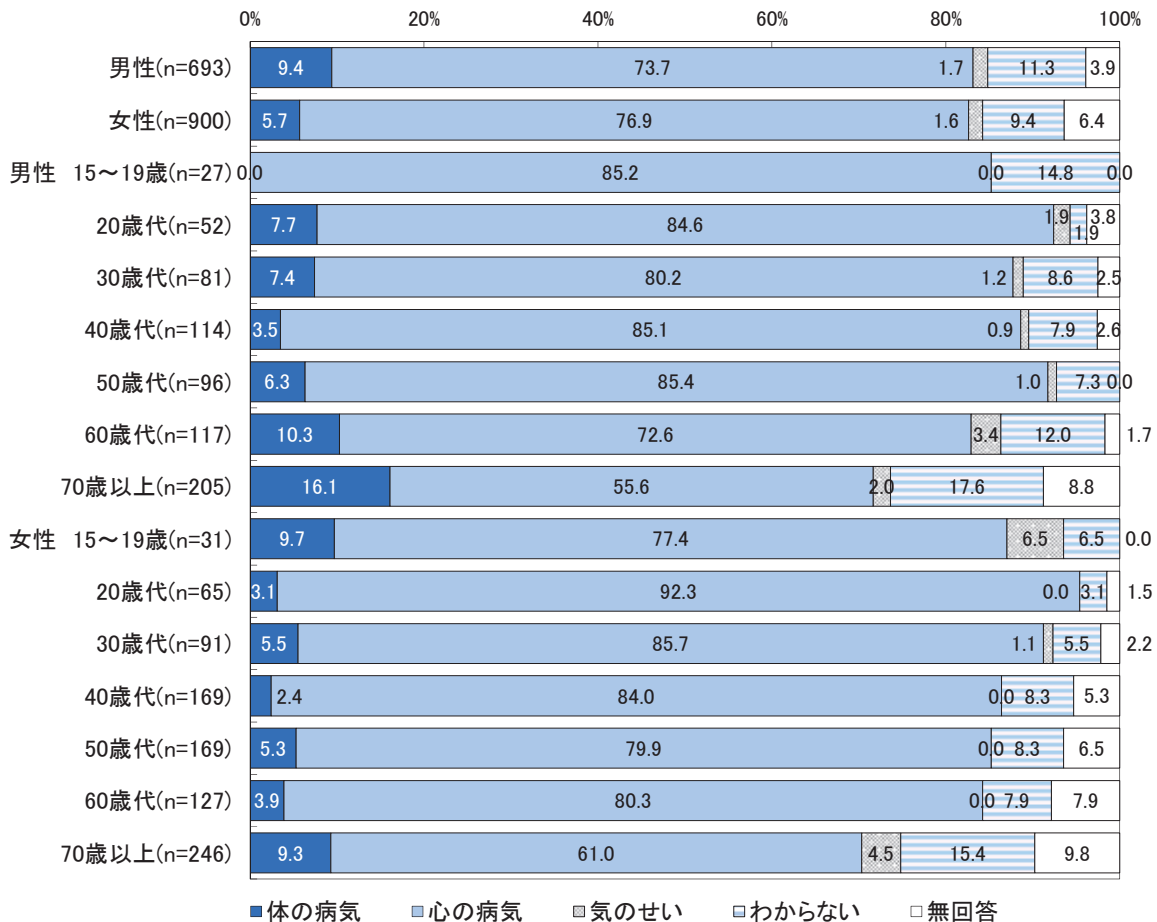
付問 1 その人の状態に最もあてはまるのは次のどれだと思いますか。

【その人の状態にあてはまると思うこと】



その人の状態にあてはまると思うことについて、「体の病気」と回答した人の割合が7.2%、「心の病気」と回答した人の割合が75.4%となっている。

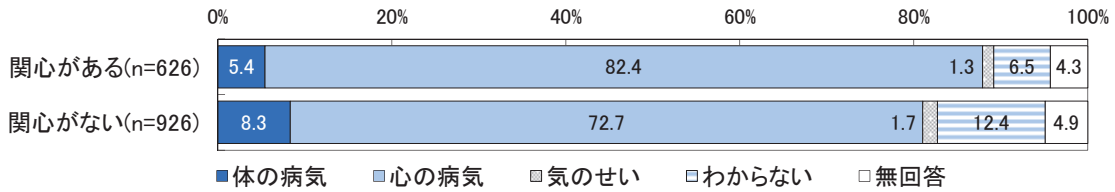
【その人の状態にあてはまると思うこと（性別、性・年齢別）】



性別にみると、「心の病気」と回答した人の割合は、男女ともに7割台となっている。

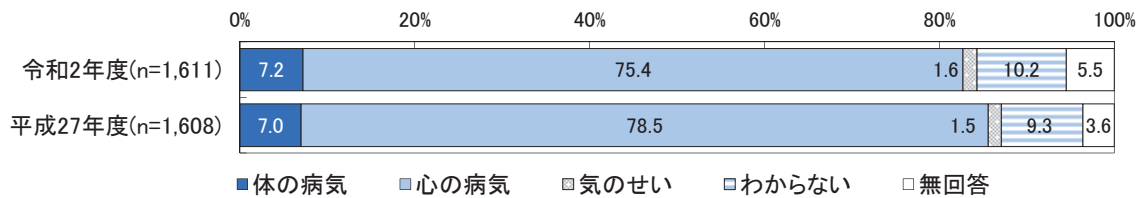
性・年齢別にみると、「心の病気」と回答した人の割合は、女性20歳代で9割を超えているが、男性70歳以上では5割台となっている。

【その人の状態にあてはまると思うこと（自殺（自死）対策への関心度別）】



自殺（自死）対策への関心度別にみると、「心の病気」と回答した人の割合は、関心がある人で8割を超えているが、関心がない人では7割台前半となっている。

【その人の状態にあてはまると思うこと（前回調査結果との比較）】



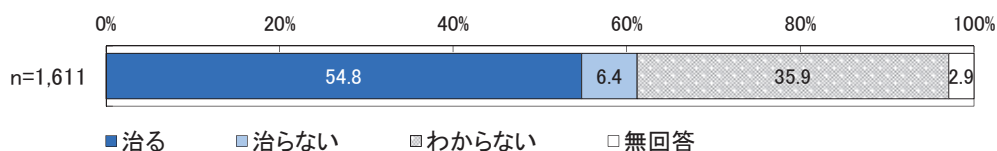
前回調査結果と比較すると、「心の病気」と回答した人の割合は、平成27年度調査よりも低下している。



## ②適切な治療について

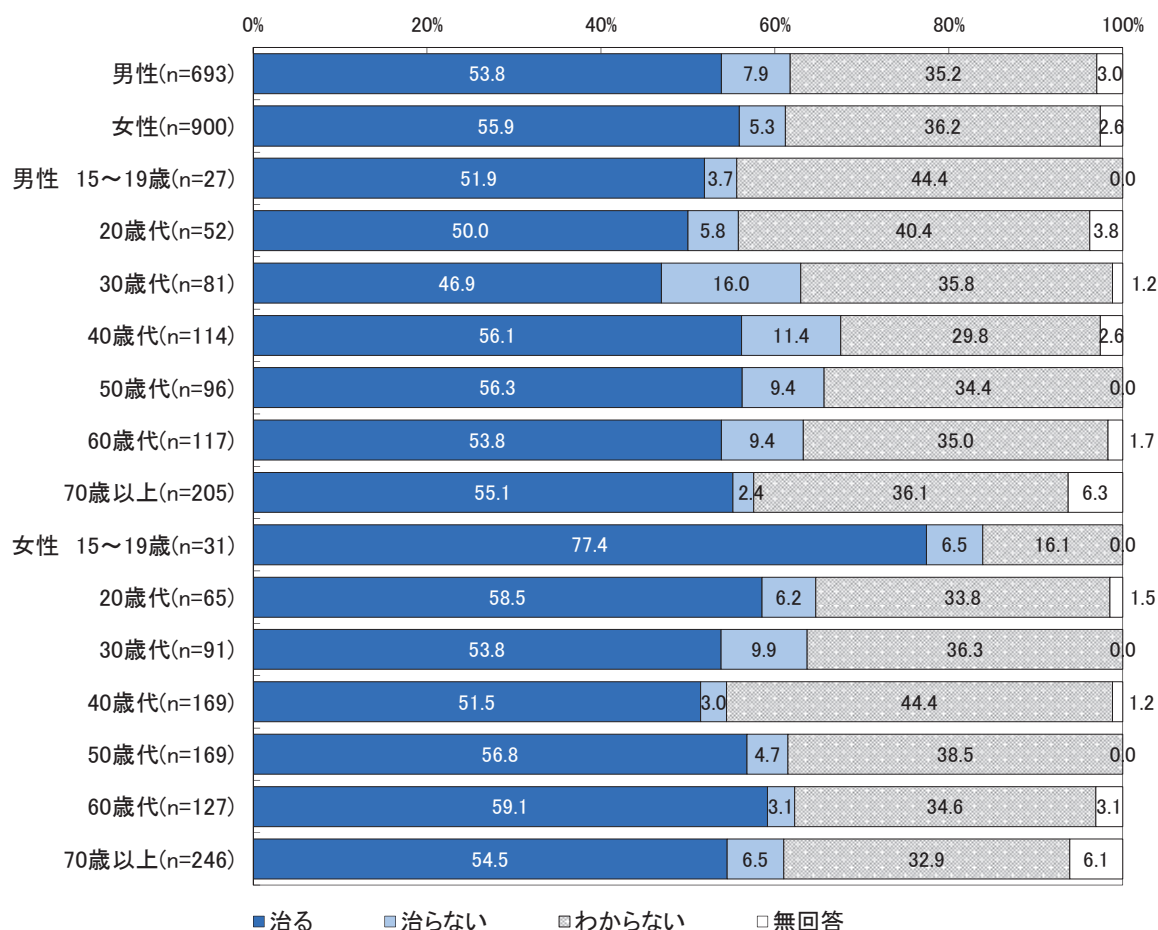
付問2 その人の状態は適切な治療で治ると思いますか。

【適切な治療による効果】



適切な治療による効果について、適切な治療で「治る」と回答した人の割合が 54.8%、「治らない」と回答した人の割合が 6.4%となっている。

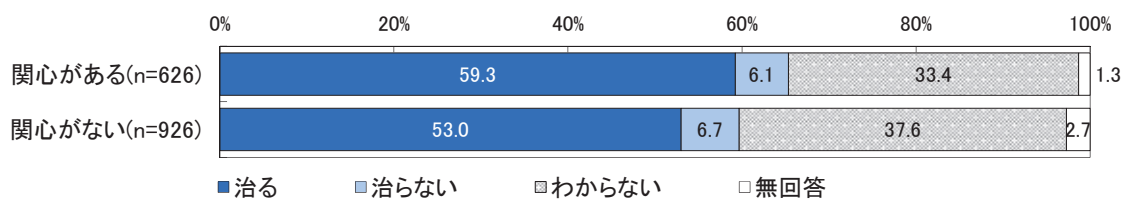
【適切な治療による効果（性別、性・年齢別）】



性別にみると、適切な治療で「治る」と回答した人の割合は、男女ともに5割台となっている。

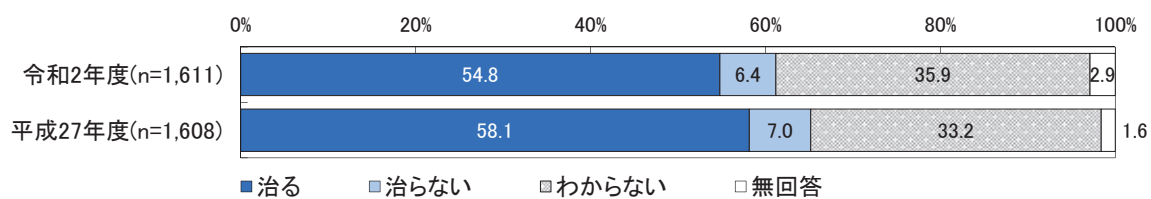
性・年齢別にみると、適切な治療で「治る」と回答した人の割合は、女性15～19歳で7割台後半、男性30歳代では4割台、他の年齢層では5割台となっている。

【適切な治療による効果（自殺（自死）対策への関心度別）】



自殺（自死）対策への関心度別にみると、「治る」と回答した人の割合は、関心がある人で約6割、関心がない人で5割台前半となっている。

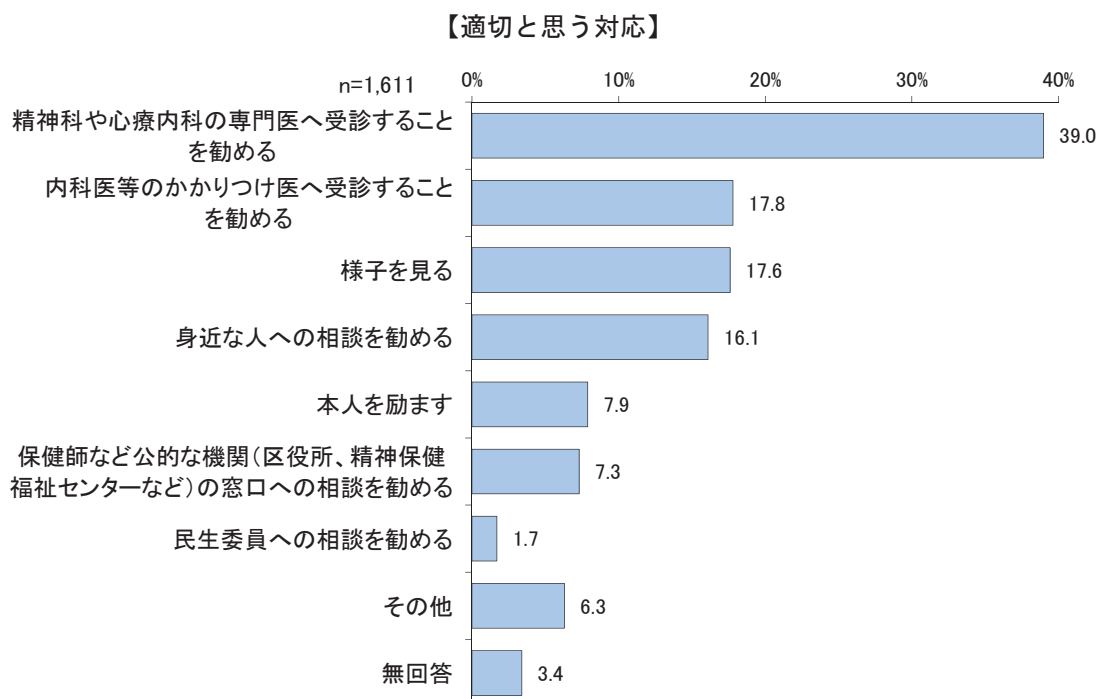
【適切な治療による効果（前回調査結果との比較）】



前回調査結果と比較すると、「治る」と回答した人の割合は、大きな変化はみられない。

### ③適切な対応について

付問3 あなたは、その人にどのように対応したらよいと思いますか。



\* 2つ以上回答している者がいるため、回答比率の合計が100.0%を超える。

適切と思う対応について、「精神科や心療内科の専門医へ受診することを勧める」と回答した人の割合が39.0%と最も高く、「内科医等のかかりつけ医へ受診することを勧める」(17.8%)、「様子を見る」(17.6%)、「身近な人への相談を勧める」(16.1%)が続いている。

【適切と思う対応（性別、性・年齢別）】

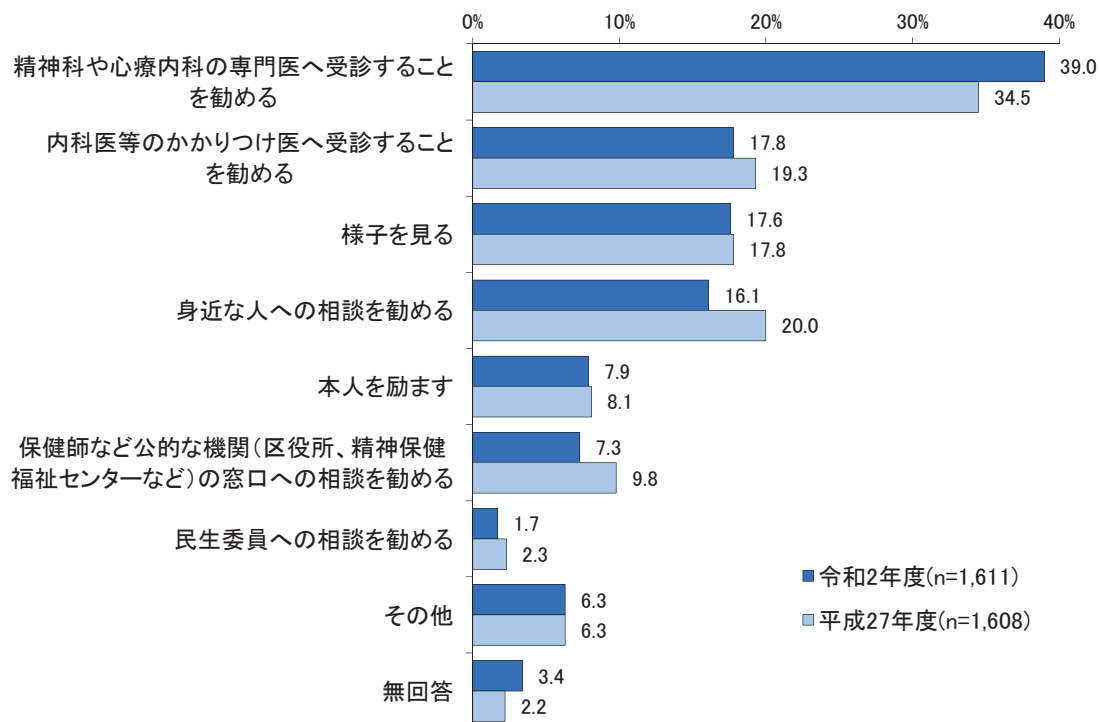
	回答数	精神科や心療内科の専門医へ受診することを勧める	内科医等のかかりつけ医へ受診することを勧める	様子を見る	身近な人への相談を勧める	本人を励ます	保健師など公的な機関(区役所、精神保健福祉センターなど)の窓口への相談を勧める	民生委員への相談を勧める	その他	無回答
男性	693	37.8%	16.0%	15.0%	16.5%	9.2%	8.5%	1.0%	5.2%	3.2%
女性	900	40.2%	19.2%	19.6%	15.7%	6.9%	6.1%	2.0%	7.1%	3.3%
男性 15～19歳	27	40.7%	3.7%	18.5%	14.8%	14.8%	14.8%	-	-	-
20歳代	52	34.6%	3.8%	17.3%	26.9%	11.5%	5.8%	-	5.8%	3.8%
30歳代	81	35.8%	14.8%	21.0%	11.1%	8.6%	8.6%	-	7.4%	1.2%
40歳代	114	43.9%	7.0%	11.4%	17.5%	6.1%	7.9%	-	7.0%	3.5%
50歳代	96	41.7%	15.6%	16.7%	13.5%	9.4%	9.4%	1.0%	6.3%	-
60歳代	117	41.9%	16.2%	16.2%	17.1%	7.7%	6.0%	0.9%	5.1%	0.9%
70歳以上	205	31.7%	26.3%	12.2%	16.1%	10.7%	9.8%	2.4%	3.4%	6.8%
女性 15～19歳	31	29.0%	9.7%	12.9%	32.3%	12.9%	3.2%	-	6.5%	-
20歳代	65	38.5%	9.2%	27.7%	13.8%	10.8%	4.6%	-	12.3%	-
30歳代	91	53.8%	5.5%	8.8%	20.9%	6.6%	6.6%	1.1%	8.8%	-
40歳代	169	47.3%	18.3%	19.5%	14.2%	4.7%	3.0%	-	9.5%	2.4%
50歳代	169	42.6%	20.7%	24.9%	13.0%	5.9%	8.3%	1.2%	5.3%	0.6%
60歳代	127	46.5%	21.3%	17.3%	19.7%	4.7%	6.3%	3.1%	7.1%	1.6%
70歳以上	246	27.6%	26.8%	19.9%	13.0%	8.5%	7.3%	4.5%	4.9%	8.5%

性別にみると、「精神科や心療内科の専門医へ受診することを勧める」と回答した人の割合は、男性で3割台後半、女性で約4割となっている。

性・年齢別にみると、「精神科や心療内科の専門医へ受診することを勧める」と回答した人の割合は、女性30歳代で5割台前半、女性40歳代、女性60歳代で4割台後半となっているが、男性70歳以上では3割台前半、女性70歳以上では2割台後半となっている。

「身近な人への相談を勧める」と回答した人の割合は、女性15～19歳で3割を超えている。

【適切と思う対応（前回調査結果との比較）】



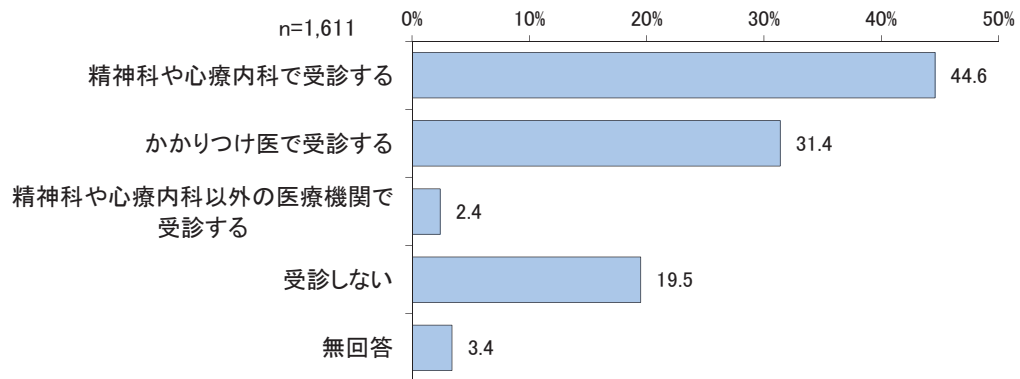
前回調査結果と比較すると、「精神科や心療内科の専門医へ受診することを勧める」と回答した人の割合は、平成27年度調査よりも上昇している。

## 8 うつ病になった場合の対応

### (1) うつ病になった場合の医療機関の受診意向

問 22 あなたは、もし「うつ病」だと思われる症状が2～3週間以上続いたら、医療機関で受診しますか。

【うつ病になった場合の医療機関の受診意向】



\* 2つ以上回答している者がいるため、回答比率の合計が100.0%を超える。

うつ病になった場合の医療機関の受診意向について、「精神科や心療内科で受診する」と回答した人の割合が44.6%、「かかりつけ医で受診する」と回答した人の割合が31.4%、「精神科や心療内科以外の医療機関で受診する」と回答した人の割合が2.4%、「受診しない」と回答した人の割合が19.5%となっている。

【うつ病になった場合の医療機関の受診意向（性別、性・年齢別）】

	回答数	精神科や心療内科で受診する	かかりつけ医で受診する	精神科や心療内科以外の医療機関で受診する	受診しない	無回答
男性	693	44.0%	31.0%	2.0%	20.5%	3.3%
女性	900	45.3%	32.0%	2.6%	18.1%	3.2%
男性 15～19歳	27	59.3%	14.8%	-	25.9%	-
20歳代	52	46.2%	17.3%	-	32.7%	3.8%
30歳代	81	51.9%	11.1%	7.4%	25.9%	3.7%
40歳代	114	60.5%	15.8%	0.9%	19.3%	3.5%
50歳代	96	57.3%	17.7%	-	26.0%	-
60歳代	117	36.8%	38.5%	2.6%	21.4%	1.7%
70歳以上	205	27.3%	54.6%	2.0%	12.2%	5.9%
女性 15～19歳	31	48.4%	29.0%	6.5%	19.4%	-
20歳代	65	55.4%	18.5%	-	24.6%	1.5%
30歳代	91	65.9%	11.0%	2.2%	18.7%	2.2%
40歳代	169	56.2%	17.2%	3.6%	20.7%	2.4%
50歳代	169	50.9%	18.3%	3.0%	27.8%	2.4%
60歳代	127	51.2%	37.0%	1.6%	11.0%	0.8%
70歳以上	246	20.7%	60.6%	2.4%	11.4%	6.5%

性別にみると、「精神科や心療内科で受診する」と回答した人の割合は、男女ともに4割台となっている。

性・年齢別にみると、「精神科や心療内科で受診する」と回答した人の割合は、男性40歳代、女性30歳代で6割を超えている。

「かかりつけ医で受診する」と回答した人の割合は、男性70歳以上で5割台半ば、女性70歳以上で約6割となっている。

また、「受診しない」と回答した人の割合は、男性20歳代で3割を超えている。



【うつ病になった場合の医療機関の受診意向（就業状況別）】

	回答数	精神科や心療内科で受診する	かかりつけ医で受診する	精神科や心療内科以外の医療機関で受診する	受診しない	無回答
農業、林業、水産業	13	30.8%	46.2%	-	15.4%	7.7%
商業、サービス業、工業	65	38.5%	30.8%	3.1%	23.1%	4.6%
自由業(弁護士、開業医、芸術家など)	29	65.5%	17.2%	3.4%	13.8%	-
管理職(会社・団体の役員、課長以上の人など)	76	53.9%	26.3%	5.3%	15.8%	-
専門・技術職	210	61.0%	18.6%	1.9%	18.1%	0.5%
事務職(会社・団体の一般事務など)	145	58.6%	15.2%	2.1%	22.1%	2.1%
販売・サービス職(店員、理・美容師など)	77	41.6%	22.1%	1.3%	28.6%	6.5%
技能・労務職(工員、建設作業員、運転手、ガードマンなど)	101	35.6%	27.7%	3.0%	31.7%	2.0%
パートタイマー、アルバイト(学生を除く)	176	54.0%	25.6%	1.1%	19.3%	1.1%
専業主婦・主夫	225	39.6%	40.0%	2.2%	16.9%	2.2%
学生	82	54.9%	17.1%	2.4%	26.8%	-
無職	342	30.7%	49.1%	2.3%	15.2%	5.6%

就業状況別にみると、「精神科や心療内科で受診する」と回答した人の割合は、「自由業（弁護士、開業医、芸術家など）」、「専門・技術職」で6割を超えている。

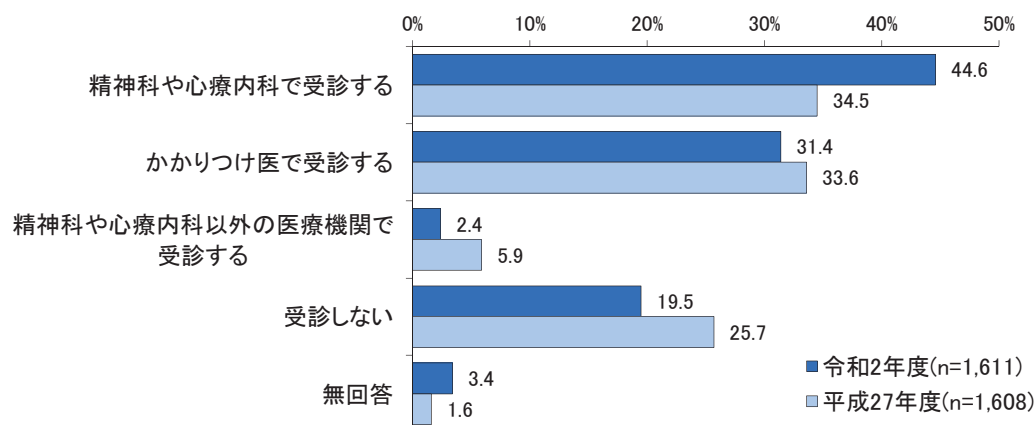
「受診しない」と回答した人の割合は、「技能・労務職（工員、建設作業員、運転手、ガードマンなど）」で3割台前半、「販売・サービス職（店員、理・美容師など）」、「学生」で2割台後半となっている。

【うつ病になった場合の医療機関の受診意向（抑うつ尺度別）】

	回答数	精神科や心療内科で受診する	かかりつけ医で受診する	精神科や心療内科以外の医療機関で受診する	受診しない	無回答
正常	1,039	49.2%	31.7%	1.5%	16.4%	2.2%
軽いうつ状態	204	43.6%	28.4%	3.4%	22.5%	2.0%
中程度のうつ状態	126	34.1%	32.5%	3.2%	29.4%	1.6%
重症のうつ状態	152	40.1%	22.4%	3.9%	32.9%	3.3%

抑うつ尺度別にみると、「受診しない」と回答した人の割合は、うつ状態が重症なほど高くなっている。

### 【うつ病になった場合の医療機関の受診意向（前回調査結果との比較）】

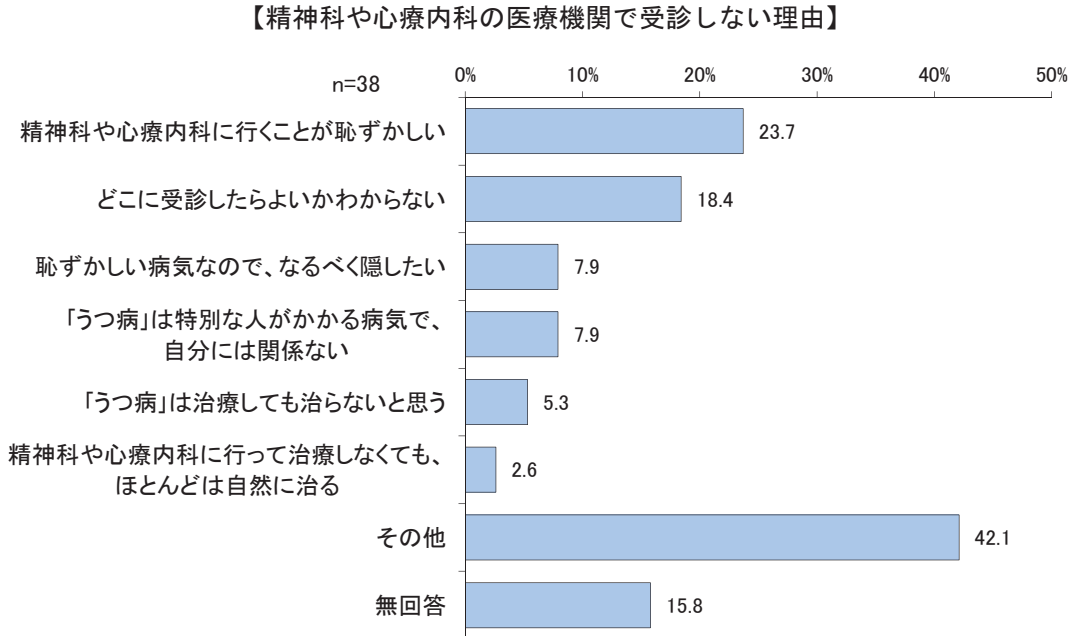


前回調査結果と比較すると、「精神科や心療内科で受診する」と回答した人の割合は、平成 27 年度調査よりも上昇している。

(2) 精神科や心療内科の医療機関で受診しない理由

問 22 で「3 精神科や心療内科以外の医療機関で受診する」と回答した人のみ回答

問 23 なぜ精神科や心療内科の医療機関で受診しないのですか。(〇はいくつでも)



精神科や心療内科の医療機関で受診しない理由について、「精神科や心療内科に行くことが恥ずかしい」と回答した人の割合が 23.7%と最も高く、次いで「どこに受診したらよいかわからない」(18.4%) となっている。

【精神科や心療内科の医療機関で受診しない理由 (性別)】

	回答数	精神科や心療内科に行くことが恥ずかしい	どこに受診したらよいかわからない	恥ずかしい病気なので、なるべく隠したい	「うつ病」は特別な人がかかる病気で、自分には関係ない	「うつ病」は治療しても治らないと思う	精神科や心療内科に行って治療しなくても、ほとんどは自然に治る	その他	無回答
男性	14	14.3%	14.3%	-	7.1%	14.3%	-	64.3%	-
女性	23	30.4%	21.7%	13.0%	8.7%	-	4.3%	26.1%	26.1%

性別にみると、「精神科や心療内科に行くことが恥ずかしい」と回答した人の割合は、女性で3割を超えている。

【精神科や心療内科の医療機関で受診しない理由（その他の内訳）】

「その他」への回答が42.1%を占め高くなっているが、その内容は次表の通り分類した。

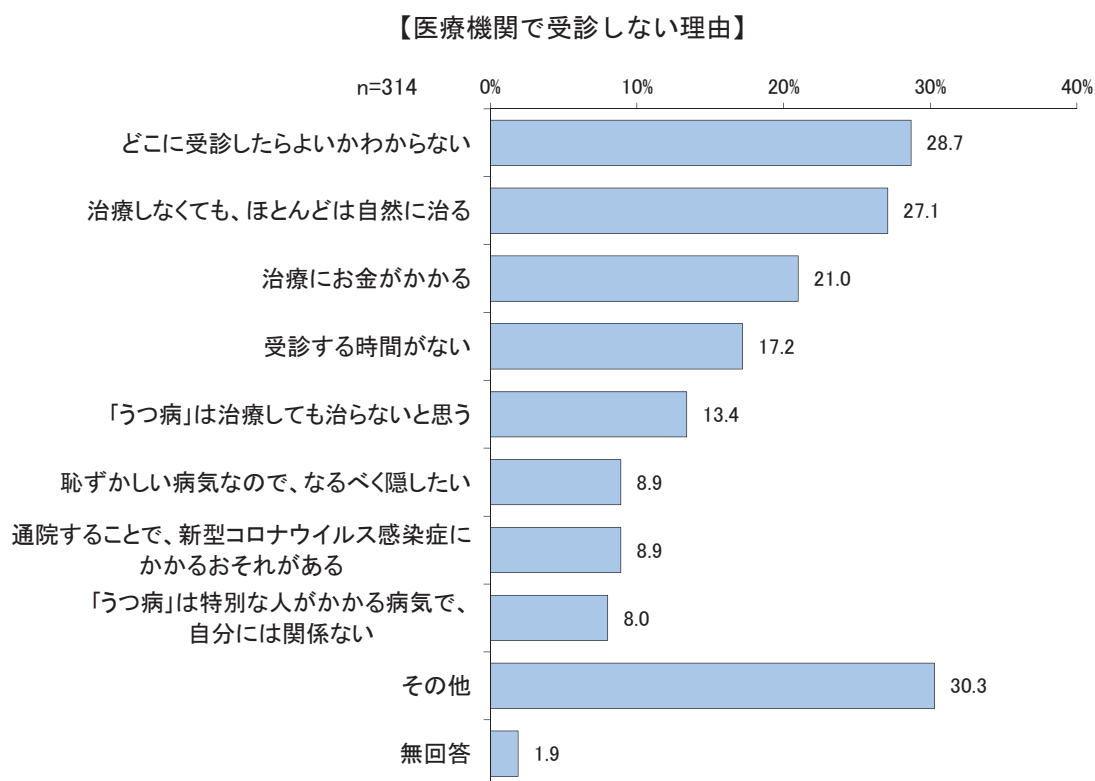
分類内容	件数
①医者や薬への不信感	6
②相談機関等へ相談する	4
③自分で治す、気分転換する、環境を変える	2
④うつへの偏見	2
⑤その他	2

精神科や心療内科の医療機関で受診しない理由（その他の理由）／回答例
<b>①医者や薬への不信感／回答例</b>
先生が信頼できる人なら受診したいが、そこまでの勇気があるか。薬も飲みたくない。 (女性 70 歳以上)
薬に頼りたくないため。(男性 30 歳代)
<b>②相談機関等へ相談する／回答例</b>
会社の診療所を使う。(男性 30 歳代)
相談室など。1人1人に時間をかけてくれる人に診察してほしい。(女性 15～19 歳)
<b>③自分で治す、気分転換する、環境を変える／回答例</b>
整体等を行い、運動をする。(男性 60 歳代)
楽しいことを思っ暮らす。自分の好きな歌を聞いて暮らすこと。(性別不明 70 歳以上)
<b>④うつへの偏見／回答例</b>
受診歴に対するデメリット。(男性 30 歳代)
もし“うつ病”と診断されたら、社会復帰が難しくなってしまうため(採用)。(女性 30 歳代)

### (3) 医療機関で受診しない理由

問 22 で「4 受診しない」と回答した人のみ回答

問 24 なぜ医療機関で受診しないのですか。(〇はいくつでも)



医療機関で受診しない理由について、「どこに受診したらよいかわからない」と回答した人の割合が 28.7%と最も高く、「治療しなくても、ほとんどは自然に治る」(27.1%)、「治療にお金がかかる」(21.0%)、「受診する時間がない」(17.2%)が続いている。

【医療機関で受診しない理由（性別、性・年齢別）】

	回答数	どこに受診したらよいかわからない	治療しなくても、ほとんどは自然に治る	治療にお金がかかる	受診する時間がない	「うつ病」は治療しても治らないと思う	恥ずかしい病気なので、なるべく隠したい	通院することで、新型コロナウイルス感染症にかかるおそれがある	「うつ病」は特別な人がかかる病気で、自分には関係ない
男性	142	23.9%	32.4%	18.3%	21.8%	15.5%	4.9%	9.2%	12.0%
女性	163	33.7%	22.1%	22.7%	13.5%	12.3%	12.3%	9.2%	4.3%
男性 15～19歳	7	42.9%	42.9%	14.3%	28.6%	14.3%	-	14.3%	-
20歳代	17	5.9%	35.3%	23.5%	17.6%	17.6%	-	5.9%	17.6%
30歳代	21	42.9%	9.5%	9.5%	28.6%	14.3%	4.8%	14.3%	9.5%
40歳代	22	18.2%	18.2%	22.7%	36.4%	13.6%	18.2%	-	13.6%
50歳代	25	20.0%	24.0%	28.0%	28.0%	20.0%	-	8.0%	-
60歳代	25	20.0%	52.0%	20.0%	16.0%	16.0%	4.0%	12.0%	20.0%
70歳以上	25	28.0%	48.0%	8.0%	4.0%	12.0%	4.0%	12.0%	16.0%
女性 15～19歳	6	16.7%	16.7%	16.7%	-	-	-	-	-
20歳代	16	50.0%	25.0%	37.5%	31.3%	31.3%	18.8%	25.0%	12.5%
30歳代	17	29.4%	5.9%	23.5%	23.5%	11.8%	17.6%	11.8%	-
40歳代	35	34.3%	14.3%	37.1%	11.4%	5.7%	25.7%	8.6%	-
50歳代	47	36.2%	23.4%	14.9%	17.0%	14.9%	4.3%	8.5%	2.1%
60歳代	14	21.4%	35.7%	28.6%	-	21.4%	7.1%	14.3%	7.1%
70歳以上	28	32.1%	32.1%	7.1%	3.6%	3.6%	7.1%	-	10.7%

	回答数	その他	無回答
男性	142	23.9%	2.8%
女性	163	35.0%	1.2%
男性 15～19歳	7	14.3%	-
20歳代	17	29.4%	5.9%
30歳代	21	38.1%	-
40歳代	22	22.7%	4.5%
50歳代	25	36.0%	-
60歳代	25	12.0%	-
70歳以上	25	12.0%	8.0%
女性 15～19歳	6	33.3%	16.7%
20歳代	16	25.0%	-
30歳代	17	52.9%	-
40歳代	35	37.1%	-
50歳代	47	38.3%	-
60歳代	14	28.6%	-
70歳以上	28	25.0%	3.6%

性別にみると、「どこに受診したらよいかわからない」と回答した人の割合は、女性で3割を超えている。

「治療しなくても、ほとんどは自然に治る」と回答した人の割合は、男性で3割を超えている。

性・年齢別にみると、回答数の少ない年齢層を除くと、「治療しなくても、ほとんどは自然に治る」と回答した人の割合は、男性60歳代で5割を超えている。

【医療機関で受診しない理由（家族構成別）】

	回答数	どこに受診したらよいかわからない	治療しなくても、ほとんどは自然に治る	治療にお金がかかる	受診する時間がない	「うつ病」は治療しても治らないと思う	恥ずかしい病気なので、なるべく隠したい	通院することで、新型コロナウイルス感染症にかかるおそれがある	「うつ病」は特別な人がかかる病気で、自分には関係ない
一人暮らし	55	30.9%	29.1%	18.2%	14.5%	14.5%	3.6%	9.1%	5.5%
夫婦だけ	79	22.8%	31.6%	15.2%	10.1%	15.2%	3.8%	6.3%	12.7%
あなた(又はあなた夫婦)と親	46	26.1%	21.7%	21.7%	17.4%	13.0%	10.9%	13.0%	4.3%
あなた(又はあなた夫婦)と子	108	34.3%	20.4%	24.1%	21.3%	10.2%	13.0%	7.4%	6.5%
あなたを含めて三世代	21	14.3%	52.4%	23.8%	19.0%	19.0%	14.3%	14.3%	9.5%
その他	3	100.0%	-	66.7%	100.0%	33.3%	33.3%	33.3%	-

	回答数	その他	無回答
一人暮らし	55	38.2%	5.5%
夫婦だけ	79	19.0%	1.3%
あなた(又はあなた夫婦)と親	46	41.3%	2.2%
あなた(又はあなた夫婦)と子	108	32.4%	0.9%
あなたを含めて三世代	21	9.5%	-
その他	3	66.7%	-

家族構成別にみると、「どこに受診したらよいかわからない」と回答した人の割合は、一人暮らし世帯、あなた（又はあなた夫婦）と子の世帯で3割を超えている。



【医療機関で受診しない理由（その他の内訳）】

「その他」への回答が30.3%を占め高くなっているが、その内容は次表の通り分類した。

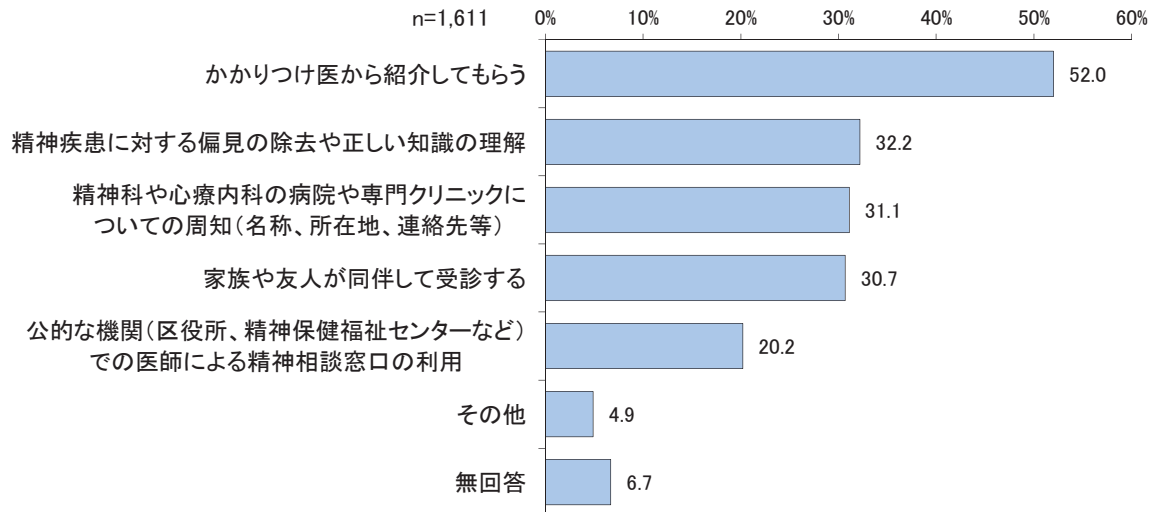
分類内容	件数
①医者や薬への不信感	23
②自分自身がうつだと自覚できない	15
③自分から受診できない、病院に行きたくない	13
④自分で治す、気分転換、環境を変える	8
⑤しばらく様子を見る	8
⑥相談機関、家族や友人等へ相談する	7
⑦うつへの偏見	4
⑧その他	21

医療機関で受診しない理由（その他の理由）／回答例
<b>①医者や薬への不信感／回答例</b>
薬に頼りたくない。(女性 40 歳代)
薬を服用したくないから。(女性 50 歳代)
患者が頼れる病院がそもそも少ないから。5 分の話+薬では治りません。(男性 50 歳代)
本当に良い医師かわからない。(女性 50 歳代)
<b>②自分自身がうつだと自覚できない／回答例</b>
“うつ病”だと自分で思わない(あとで気付く)。(女性 30 歳代)
自分では気が付かないかもしれない。(女性 70 歳以上)
自分が「うつ病」であるとの自覚がない気がする。(男性 50 歳代)
どんな症状がうつ病なのか知らない。(男性 20 歳代)
<b>③自分から受診できない、病院に行きたくない／回答例</b>
病院嫌い。(男性 40 歳代)
自分では病院に行こうという気にすらならないと思う。親や他の人に連れて行かれると思う。(男性 20 歳代)
もしもうつ病になったら、外に出るのもゆううつになると思うので、受診したほうが良いとわかっているけど、気持ちが外に向かないと思う。(女性 30 歳代)
<b>④自分で治す、気分転換、環境を変える／回答例</b>
ひたすら休む、嫌な仕事なら辞める。うつ症状は色々あるので、状況による。(男性 30 歳代)
ストレスや不安要素を排除すれば良くなるから(環境を変えれば)。(男性 40 歳代)
自分がうつと認めたなら自力で治す。ストレスに感じる事をやめる。仕事であっても環境を変える。(男性 40 歳代)
<b>⑤しばらく様子を見る／回答例</b>
おそらく2～3週間であれば、自然に治るかとも思い、もっと長期化して初めて心療内科に行くと思う。(女性 20 歳代)
もう少し状況を見る。さらに悪化、変化持続の場合は受診をする。(女性 50 歳代)
<b>⑥相談機関、家族や友人等へ相談する／回答例</b>
まずは、相談機関(地域や職場の)を利用する。(女性 30 歳代)
まずは、信頼できる人に相談して必要だと思ったら受診する。(女性 50 歳代)
<b>⑦うつへの偏見／回答例</b>
恥ずかしくはないが、周りが腫れ物に触るような態度になるのがいやだ。(女性 30 歳代)
この程度で医療費かけてかかるのは、甘えているのではと周りから思われる気がする。(女性 40 歳代)

(4) 精神科や心療内科を受診しやすくするために有効だと思うこと

問 25 精神科や心療内科の受診をしやすくするには、どのようにしたらよいと思いますか。  
(○はいくつでも)

【精神科や心療内科を受診しやすくするために有効だと思うこと】



精神科や心療内科を受診しやすくするために有効だと思うことについて、「かかりつけ医から紹介してもらう」と回答した人の割合が 52.0%と最も高く、「精神疾患に対する偏見の除去や正しい知識の理解」(32.2%)、「精神科や心療内科の病院や専門クリニックについての周知(名称、所在地、連絡先等)」(31.1%)、「家族や友人が同伴して受診する」(30.7%)が続いている。

【精神科や心療内科を受診しやすくするために有効だと思うこと（性別、性・年齢別）】

	回答数	かかりつけ医から紹介してもらう	精神疾患に対する偏見の除去や正しい知識の理解	精神科や心療内科の病院や専門クリニックについての周知(名称、所在地、連絡先等)	家族や友人が同伴して受診する	公的な機関(区役所、精神保健福祉センターなど)での医師による精神相談窓口の利用	その他	無回答
男性	693	49.4%	28.9%	29.0%	25.7%	21.2%	3.5%	7.5%
女性	900	54.0%	34.9%	33.1%	34.7%	19.4%	6.1%	5.7%
男性 15～19歳	27	48.1%	33.3%	37.0%	22.2%	14.8%	-	7.4%
20歳代	52	30.8%	32.7%	26.9%	25.0%	13.5%	3.8%	11.5%
30歳代	81	29.6%	45.7%	35.8%	27.2%	27.2%	11.1%	6.2%
40歳代	114	36.0%	36.0%	36.8%	31.6%	23.7%	3.5%	6.1%
50歳代	96	39.6%	34.4%	38.5%	20.8%	22.9%	5.2%	3.1%
60歳代	117	58.1%	26.5%	29.9%	29.1%	27.4%	1.7%	4.3%
70歳以上	205	68.8%	15.6%	16.6%	22.4%	16.1%	1.0%	11.7%
女性 15～19歳	31	61.3%	38.7%	38.7%	38.7%	3.2%	6.5%	6.5%
20歳代	65	40.0%	49.2%	41.5%	46.2%	12.3%	7.7%	-
30歳代	91	38.5%	53.8%	37.4%	29.7%	26.4%	6.6%	2.2%
40歳代	169	43.2%	39.6%	37.3%	35.5%	21.3%	9.5%	5.3%
50歳代	169	46.7%	44.4%	45.6%	30.2%	20.1%	10.1%	3.6%
60歳代	127	56.7%	36.2%	35.4%	34.6%	32.3%	4.7%	0.8%
70歳以上	246	73.6%	13.4%	16.3%	35.8%	12.2%	1.2%	12.2%

性別にみると、「かかりつけ医から紹介してもらう」と回答した人の割合は、男性で約5割、女性で5割台前半となっている。

性・年齢別にみると、「かかりつけ医から紹介してもらう」と回答した人の割合は、男性70歳以上で6割台後半、女性70歳以上で7割台前半となっている。

「精神疾患に対する偏見の除去や正しい知識の理解」と回答した人の割合は、女性30歳代で5割台前半、男性30歳代、女性20歳代で4割台後半となっている。

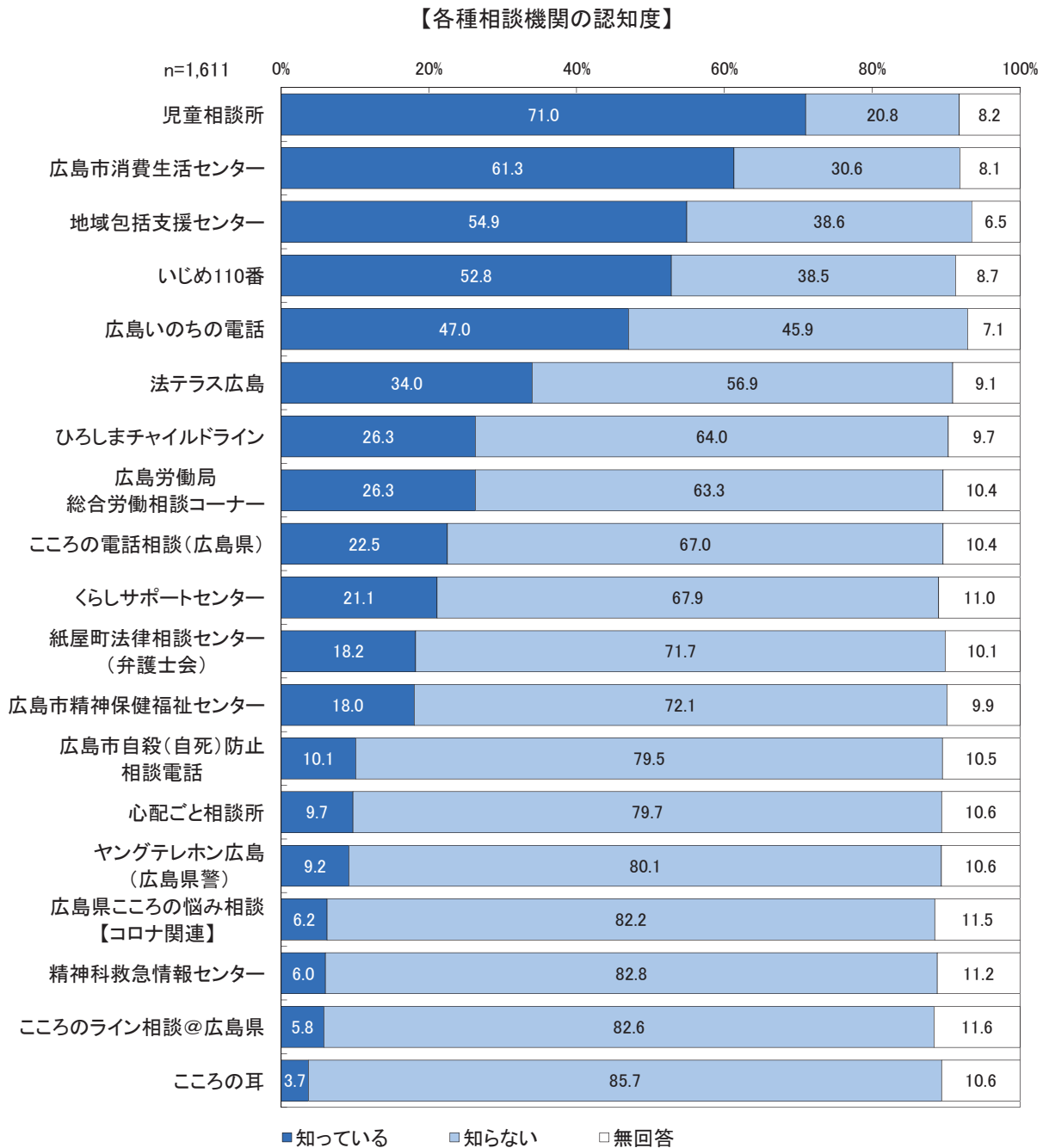
「精神科や心療内科の病院や専門クリニックについての周知(名称、所在地、連絡先等)」と回答した人の割合は、女性20歳代、女性50歳代で4割を超えている。

「家族や友人が同伴して受診する」と回答した人の割合は、女性20歳代で4割台後半となっている。

## 9 相談機関

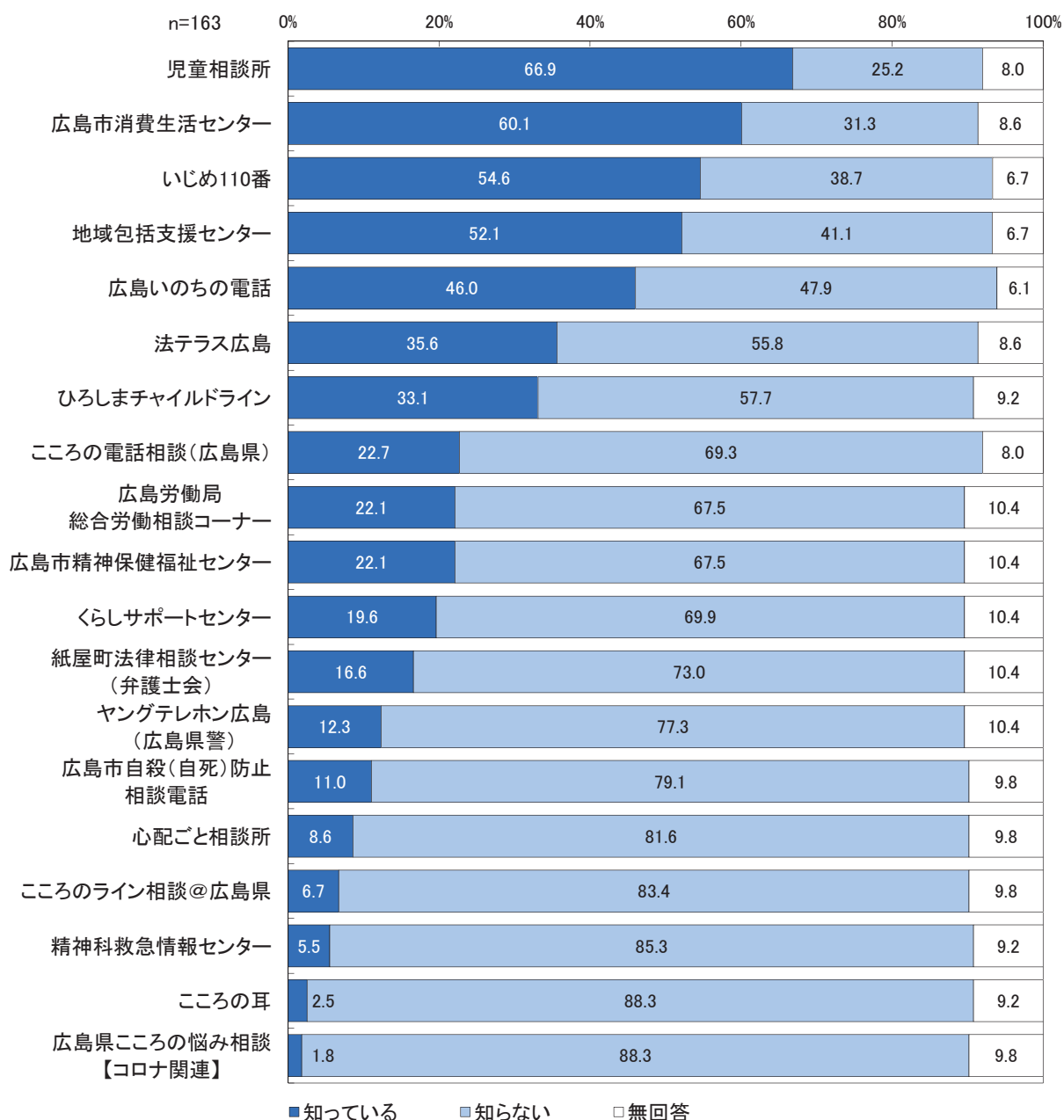
### (1) 各種相談機関の認知度

問 26 次の相談機関を知っていますか。



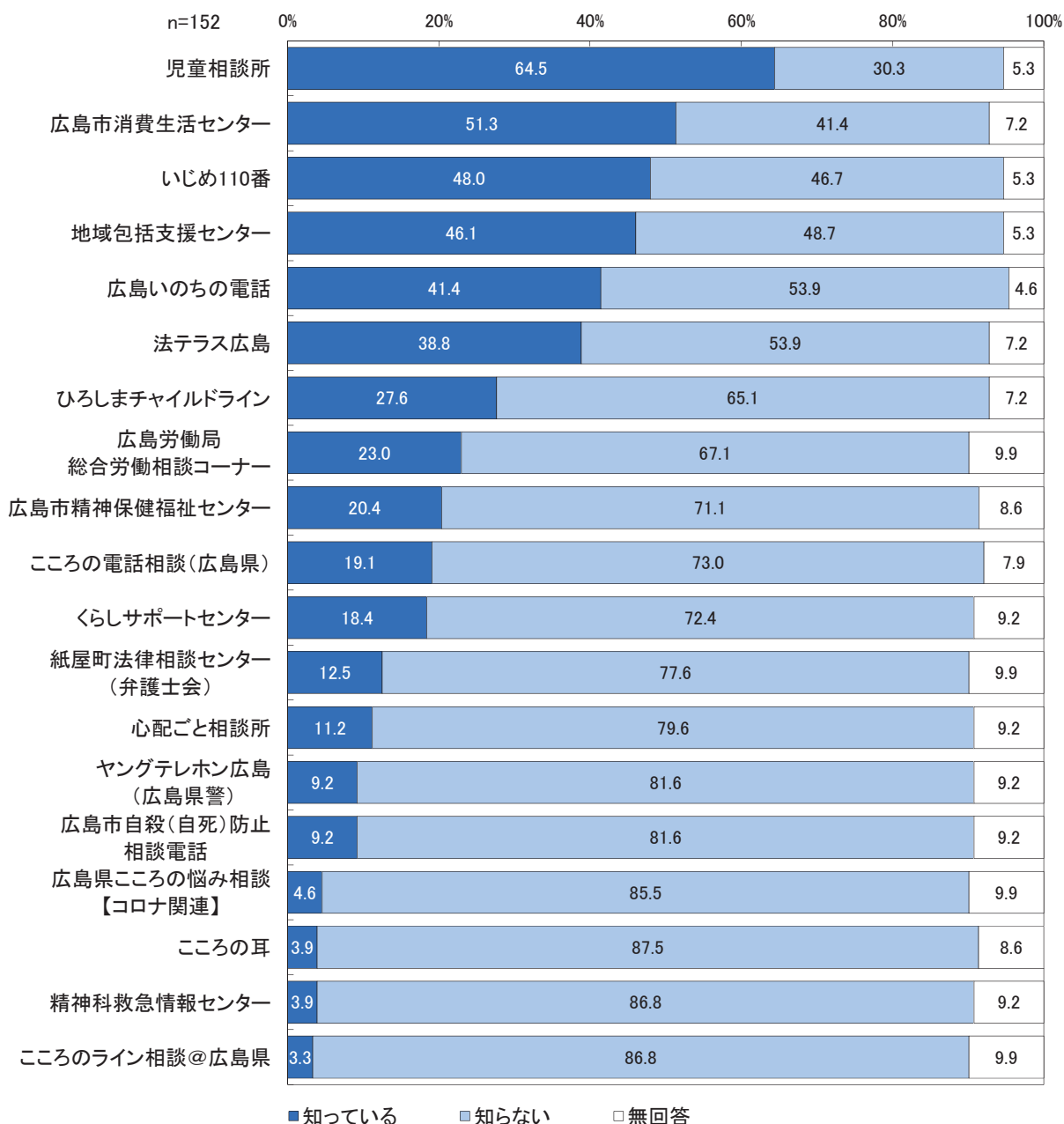
各種相談機関の認知度について、「知っている」と回答した人の割合は、「児童相談所」、「広島市消費生活センター」、「地域包括支援センター」、「いじめ110番」で5割を超えている。一方、「知らない」と回答した人の割合は、「こころの耳」、「こころのライン相談@広島県」、「精神科救急情報センター」、「広島県こころの悩み相談【コロナ関連】」、「ヤングテレホン広島(広島県警)」で8割を超えている。

【各種相談機関の認知度（死にたいと思うほどの悩みやストレスがあった人）】



死にたいと思うほどの悩みやストレスがあった人においても、「知らない」と回答した人の割合が5割を超える窓口が多くなっている。

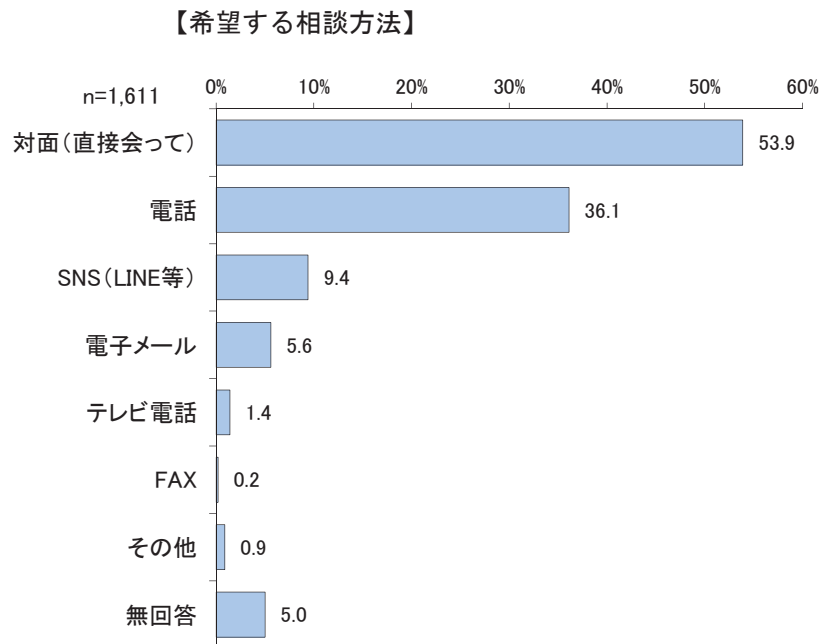
【各種相談機関の認知度（抑うつ尺度で重症のうつ状態に該当する人）】



抑うつ尺度で重症のうつ状態に該当する人においても、「知らない」と回答した人の割合が5割を超える窓口が多くなっている。

(2) 希望する相談方法

問 27 相談機関で相談するときに、どのような方法で相談したいですか。



希望する相談方法について、「対面(直接会って)」と回答した人の割合が 53.9%と最も高く、次いで「電話」(36.1%)となっている。

【希望する相談方法 (性別、性・年齢別)】

	回答数	対面(直接会って)	電話	SNS(LINE等)	電子メール	テレビ電話	FAX	その他	無回答
男性	693	61.3%	30.6%	5.9%	4.3%	1.0%	-	0.7%	4.9%
女性	900	48.7%	40.1%	12.1%	6.4%	1.8%	0.4%	1.0%	5.0%
男性 15～19歳	27	40.7%	29.6%	22.2%	3.7%	3.7%	-	-	-
20歳代	52	59.6%	19.2%	21.2%	5.8%	-	-	3.8%	1.9%
30歳代	81	58.0%	38.3%	12.3%	8.6%	4.9%	-	1.2%	1.2%
40歳代	114	60.5%	30.7%	7.0%	5.3%	-	-	-	2.6%
50歳代	96	64.6%	27.1%	4.2%	7.3%	-	-	1.0%	3.1%
60歳代	117	69.2%	29.1%	0.9%	4.3%	0.9%	-	-	2.6%
70歳以上	205	60.5%	33.2%	0.5%	0.5%	0.5%	-	0.5%	10.7%
女性 15～19歳	31	58.1%	29.0%	19.4%	6.5%	6.5%	-	-	-
20歳代	65	43.1%	23.1%	36.9%	4.6%	1.5%	1.5%	1.5%	-
30歳代	91	41.8%	34.1%	31.9%	15.4%	1.1%	-	-	2.2%
40歳代	169	52.7%	34.9%	13.6%	11.2%	3.6%	0.6%	2.4%	3.6%
50歳代	169	47.3%	43.2%	10.1%	10.7%	3.0%	-	1.8%	2.4%
60歳代	127	50.4%	54.3%	6.3%	0.8%	-	0.8%	-	0.8%
70歳以上	246	49.2%	42.7%	0.8%	0.4%	0.4%	0.4%	-	12.6%

性別にみると、「対面(直接会って)」と回答した人の割合は、男女ともに最も高く、男性で6割台、女性で4割台後半となっている。

「電話」と回答した人の割合は、女性で約4割となっている。



性・年齢別にみると、「対面（直接会って）」と回答した人の割合は、男性 40 歳代～70 歳以上で 6 割台となっている。

「電話」と回答した人の割合は、女性 60 歳代で 5 割台となっている。

「SNS（LINE 等）」と回答した人の割合は、女性 20 歳代、女性 30 歳代で 3 割を超えている。

【希望する相談方法（死にたいと思うほどの悩みやストレスの有無別）】

	回答数	対面(直接会って)	電話	SNS (LINE等)	電子メール	テレビ電話	FAX	その他	無回答
悩みはなかった	1,377	55.2%	35.8%	8.9%	5.5%	1.6%	0.2%	0.7%	4.2%
悩みがあった	163	49.1%	39.3%	16.0%	5.5%	0.6%	0.6%	3.1%	4.9%

死にたいと思うほどの悩みやストレスの有無別にみると、悩みがあった人では、「対面（直接会って）」と回答した人の割合が約 5 割、「電話」と回答した人の割合が約 4 割と上位となっているが、「SNS（LINE 等）」と回答した人の割合が続いて 1 割台後半となっている。

【希望する相談方法（抑うつ尺度別）】

	回答数	対面(直接会って)	電話	SNS (LINE等)	電子メール	テレビ電話	FAX	その他	無回答
正常	1,039	56.9%	37.5%	7.6%	5.2%	1.4%	0.3%	0.6%	3.2%
軽うつ状態	204	50.0%	38.7%	11.8%	7.4%	1.5%	0.5%	-	3.4%
中程度のうつ状態	126	49.2%	34.9%	11.1%	7.1%	2.4%	-	0.8%	4.0%
重症のうつ状態	152	48.7%	30.9%	21.7%	7.2%	1.3%	-	3.9%	3.9%

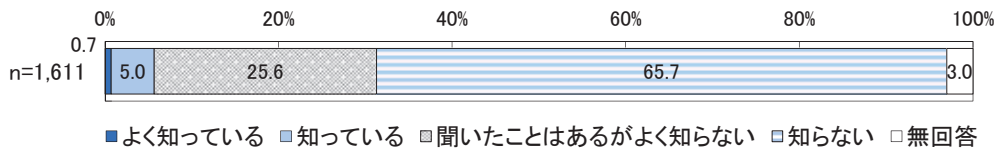
抑うつ尺度別にみると、「対面（直接会って）」、「電話」と回答した人の割合は、うつ状態が重症なほど低く、重症のうつ状態に該当する人では、「SNS（LINE 等）」と回答した人の割合が 2 割を超えている。

## 10 自殺（自死）対策

### (1) 自殺対策基本法の認知度

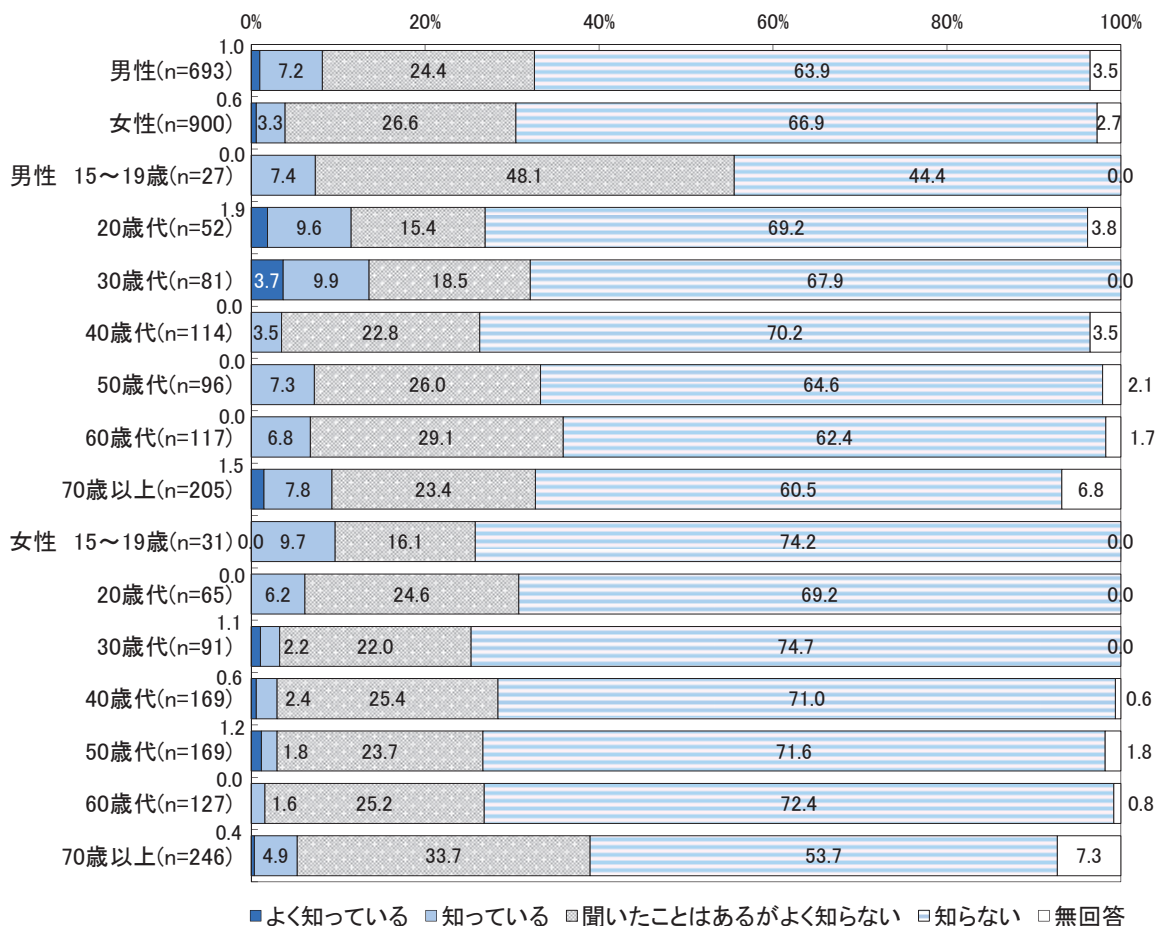
問 28 自殺（自死）対策を社会的な取組として総合的に推進するため、自殺対策基本法が施行されています。あなたは、この法律をご存知ですか。

【自殺対策基本法の認知度】



自殺対策基本法の認知度について、『知っている』（「よく知っている」＋「知っている」）と回答した人の割合が 5.7%、『知らない』（「知らない」＋「聞いたことはあるがよく知らない」）と回答した人の割合が 91.3%となっている。

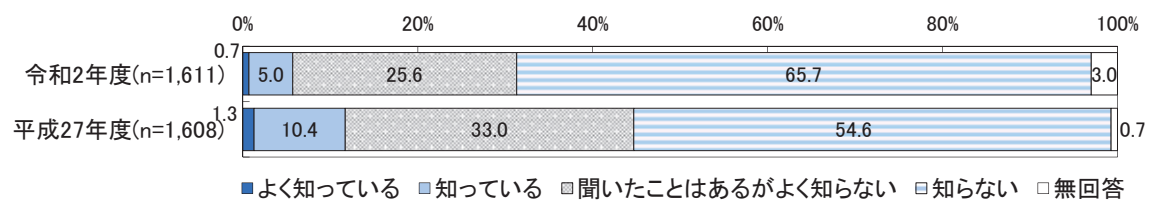
【自殺対策基本法の認知度（性別、性・年齢別）】



性別にみると、『知っている』と回答した人の割合は、男女ともに1割に満たない。

性・年齢別にみると、『知っている』と回答した人の割合は、男性20歳代、男性30歳代で1割を超えているが、他の年齢層では1割に満たない。

【自殺対策基本法の認知度（前回調査結果との比較）】

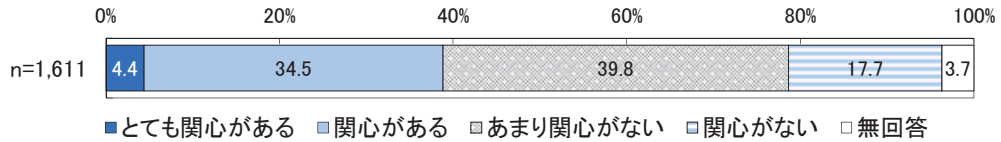


前回調査結果と比較すると、『知っている』と回答した人の割合は、平成27年度調査よりも低下している。

(2) 自殺（自死）対策への関心度

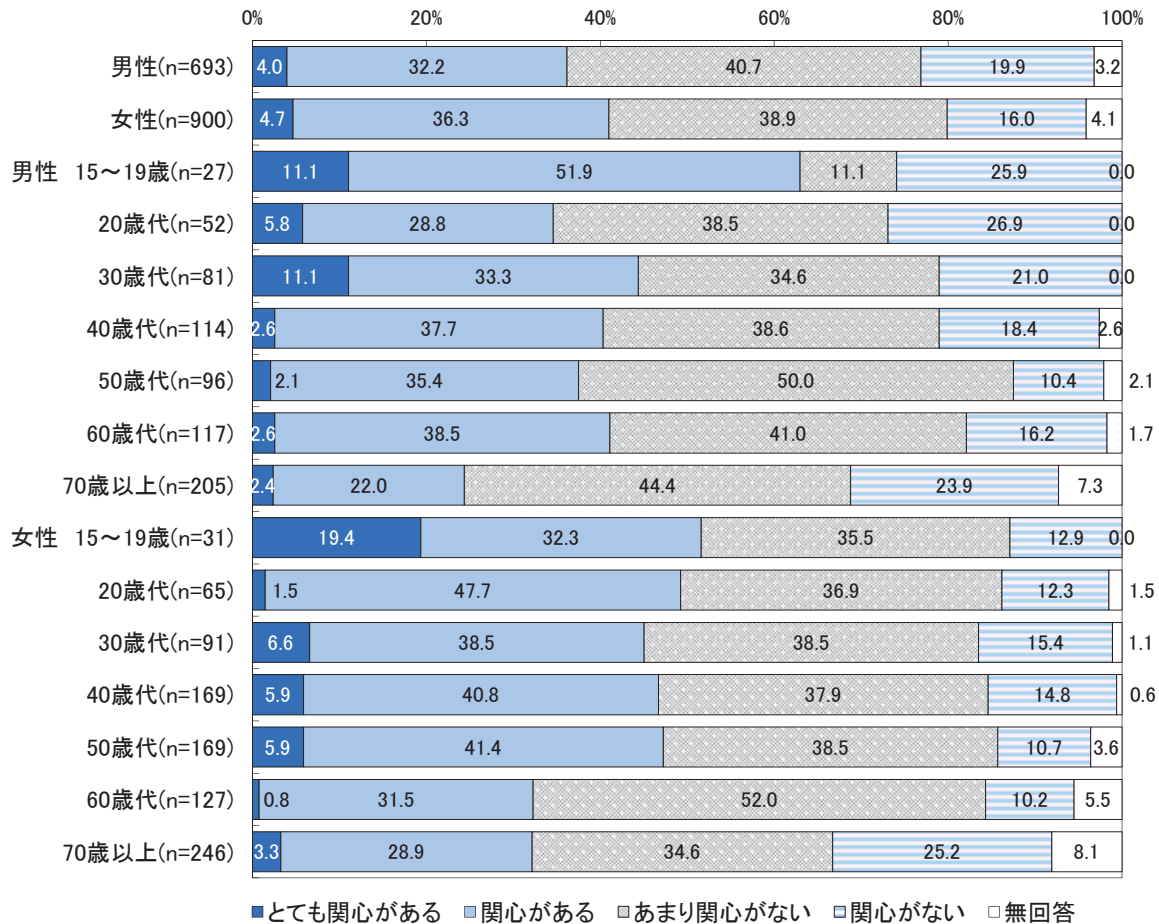
問 29 あなたは、自殺（自死）対策に関心がありますか。

【自殺（自死）対策への関心度】



自殺（自死）対策への関心度について、『関心がある』（「とても関心がある」＋「関心がある」）と回答した人の割合が 38.9%、『関心がない』（「関心がない」＋「あまり関心がない」）と回答した人の割合が 57.5%となっている。

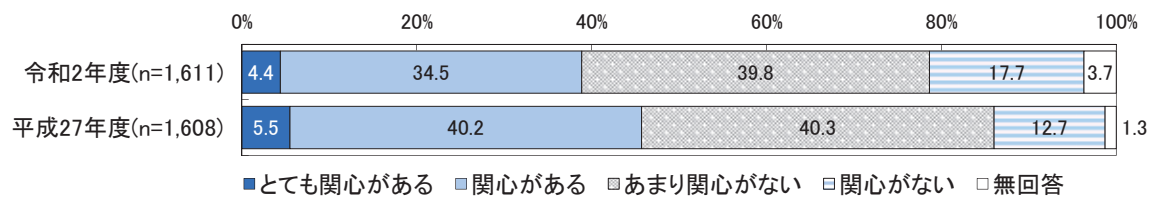
【自殺（自死）対策への関心度（性別、性・年齢別）】



性別にみると、『関心がある』と回答した人の割合は、男性で3割台後半、女性で4割台前半となっている。

性・年齢別にみると、『関心がある』と回答した人の割合は、男性 15～19 歳で6割台前半、女性 15～19 歳で5割台前半、男性 30 歳代、男性 40 歳代、男性 60 歳代、女性 20 歳代～50 歳代で4割台となっている。

【自殺（自死）対策への関心度（前回調査結果との比較）】

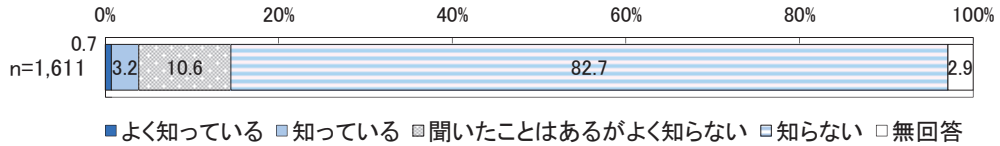


前回調査結果と比較すると、『関心がある』と回答した人の割合は、平成27年度調査よりも低下している。

(3) ゲートキーパーの認知度

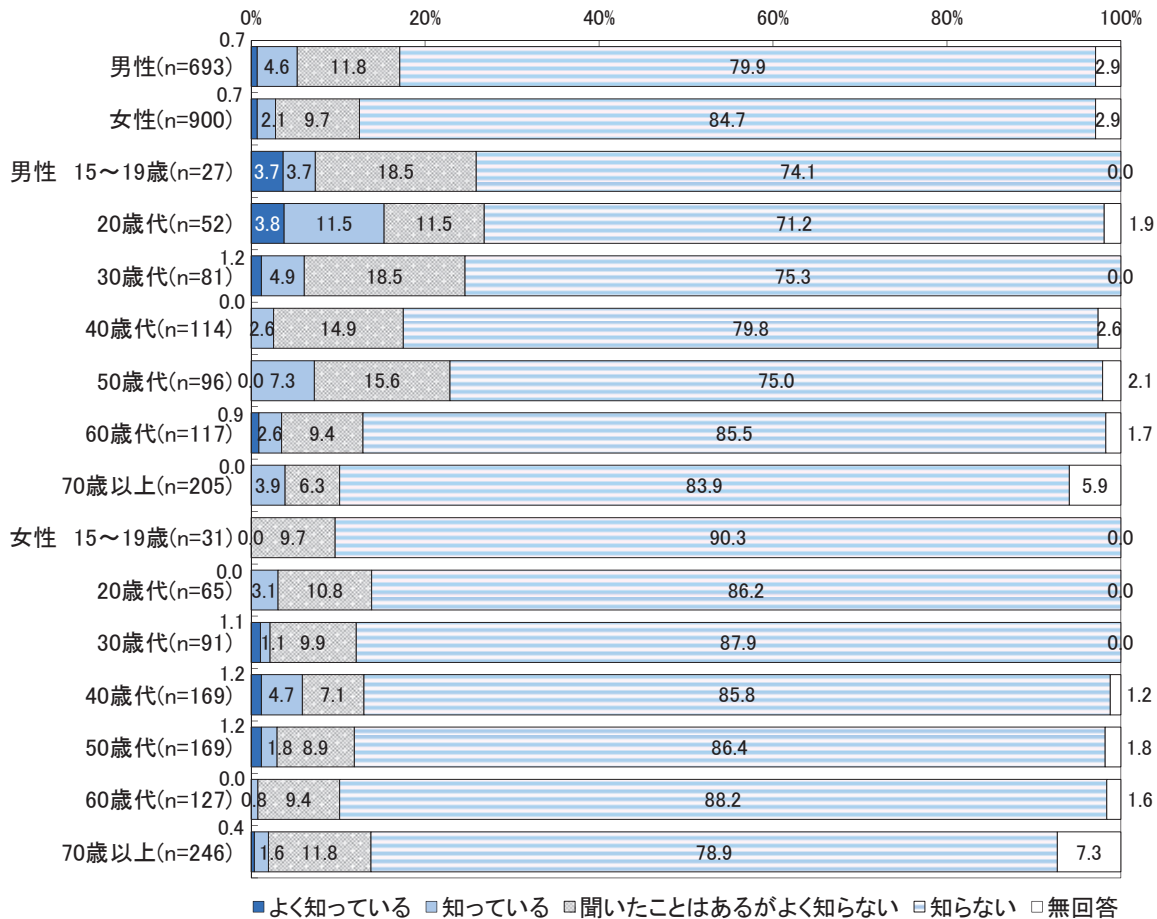
問 30 自殺（自死）対策における「ゲートキーパー」という言葉を知っていますか。

【ゲートキーパーの認知度】



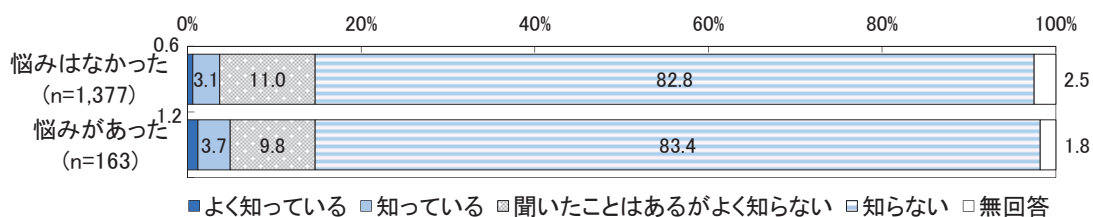
ゲートキーパーの認知度について、『知っている』（「よく知っている」＋「知っている」）と回答した人の割合が 3.9%、『知らない』（「知らない」＋「聞いたことはあるがよく知らない」）と回答した人の割合が 93.3%となっている。

【ゲートキーパーの認知度（性別、性・年齢別）】



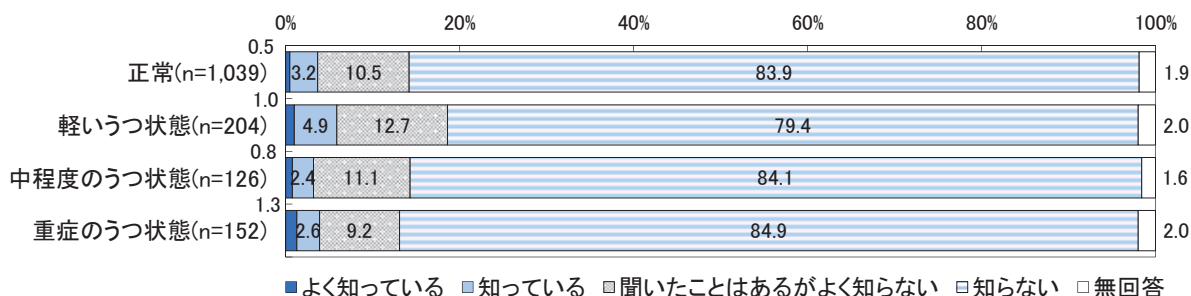
性別にみると、『知っている』と回答した人の割合は、男女ともに1割に満たない。  
 性・年齢別にみると、『知っている』と回答した人の割合は、男性20歳代で1割台半ばとなっているが、他の年齢層では1割に満たない。

【ゲートキーパーの認知度（死にたいと思うほどの悩みやストレスの有無別）】



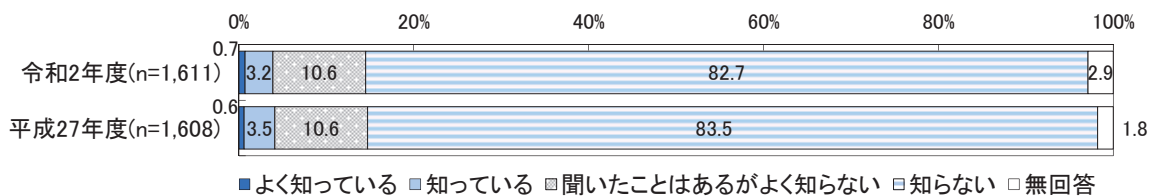
死にたいと思うほどの悩みやストレスの有無別にみると、悩みがあった人においても『知っている』と回答した人の割合は1割に満たない。

【ゲートキーパーの認知度（抑うつ尺度別）】



抑うつ尺度別にみると、いずれのうつ状態においても『知っている』と回答した人の割合は1割に満たない。

【ゲートキーパーの認知度（前回調査結果との比較）】



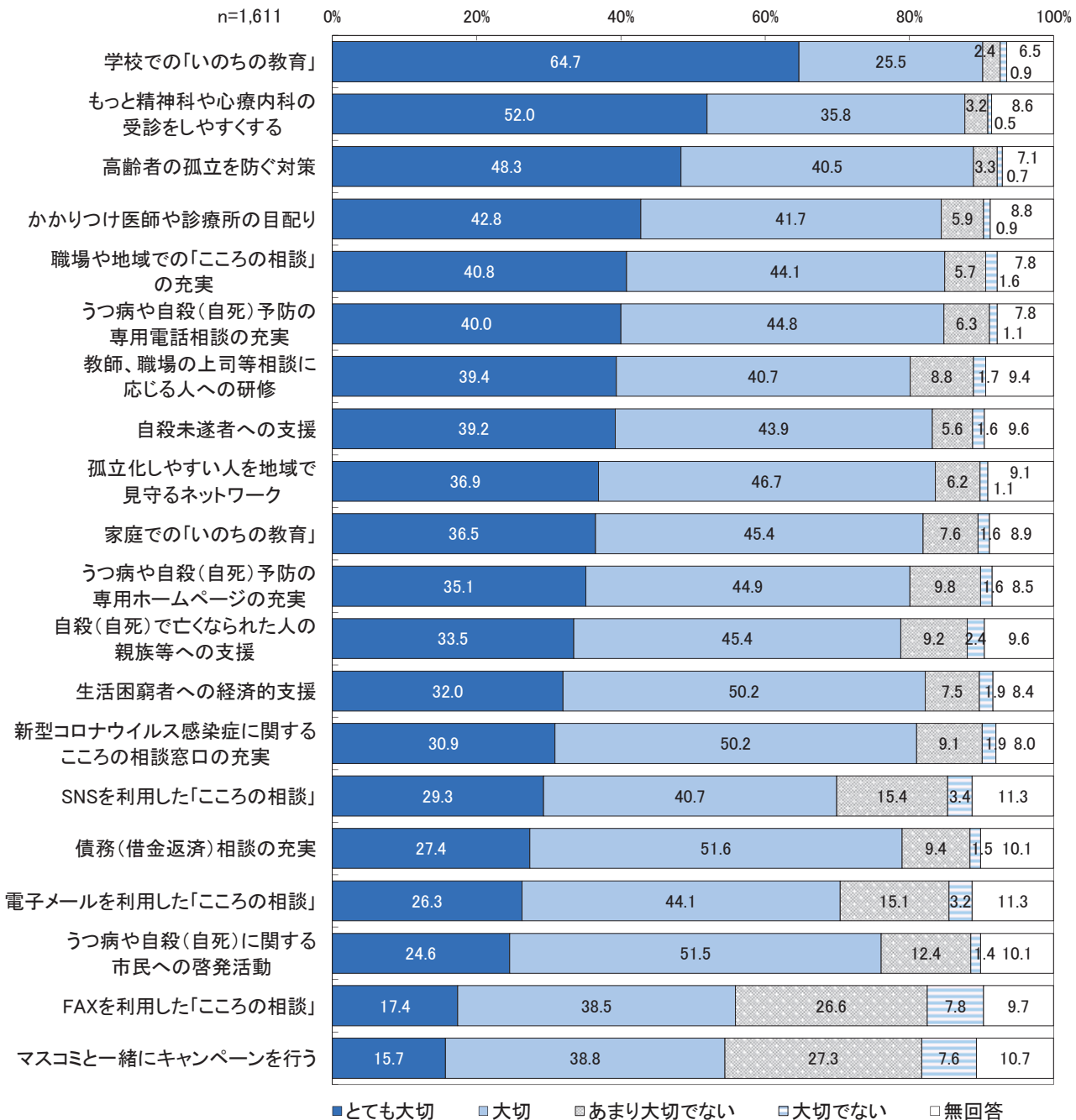
前回調査結果と比較すると、『知っている』と回答した人の割合は、大きな変化はみられない。



(4) 自殺（自死）対策として大切だと思うこと

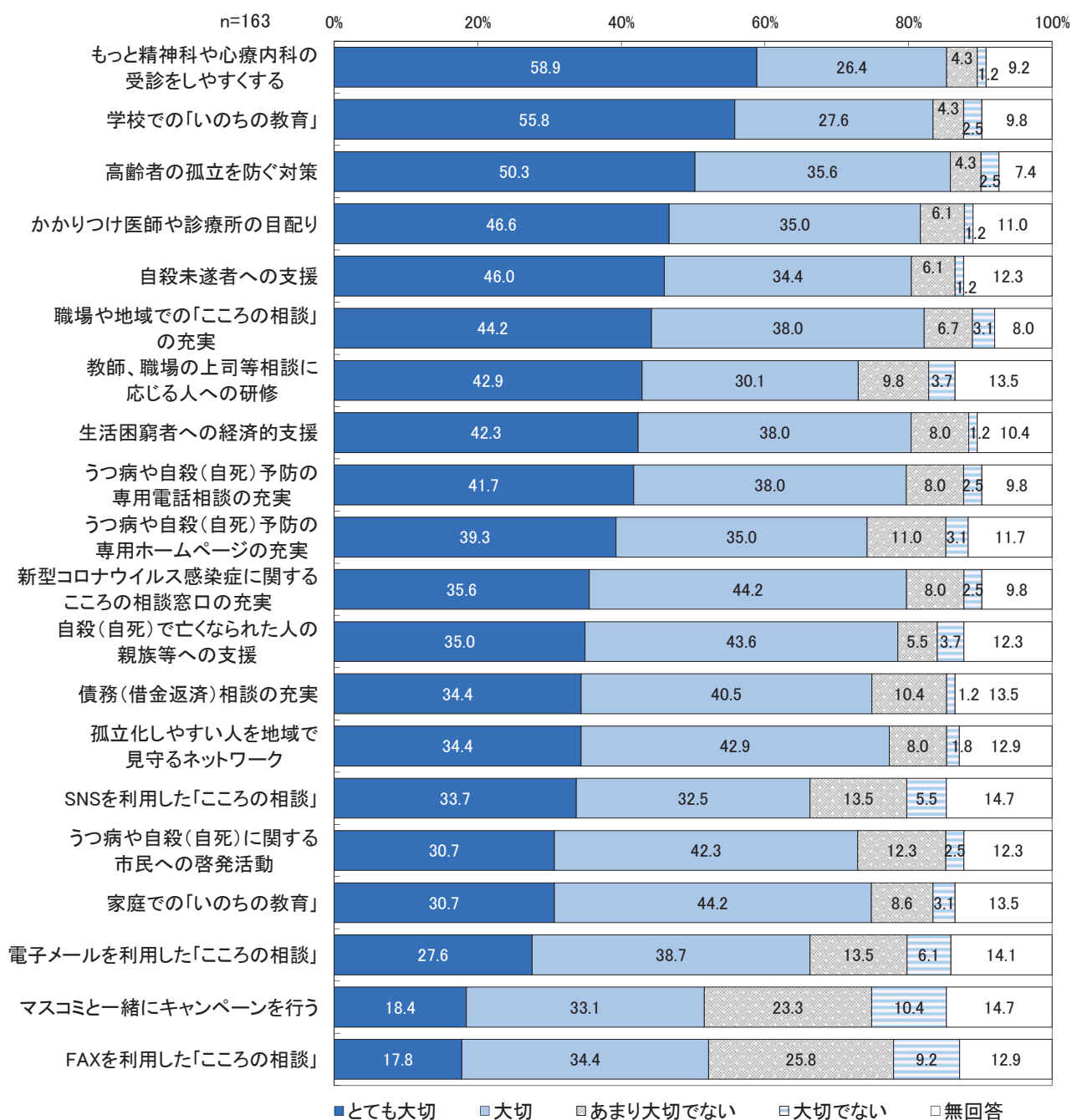
問 31 自殺（自死）対策として、あなたが大切だと思うことや充実させてもらいたいことはどのようなものですか。

【自殺（自死）対策として大切だと思うこと】



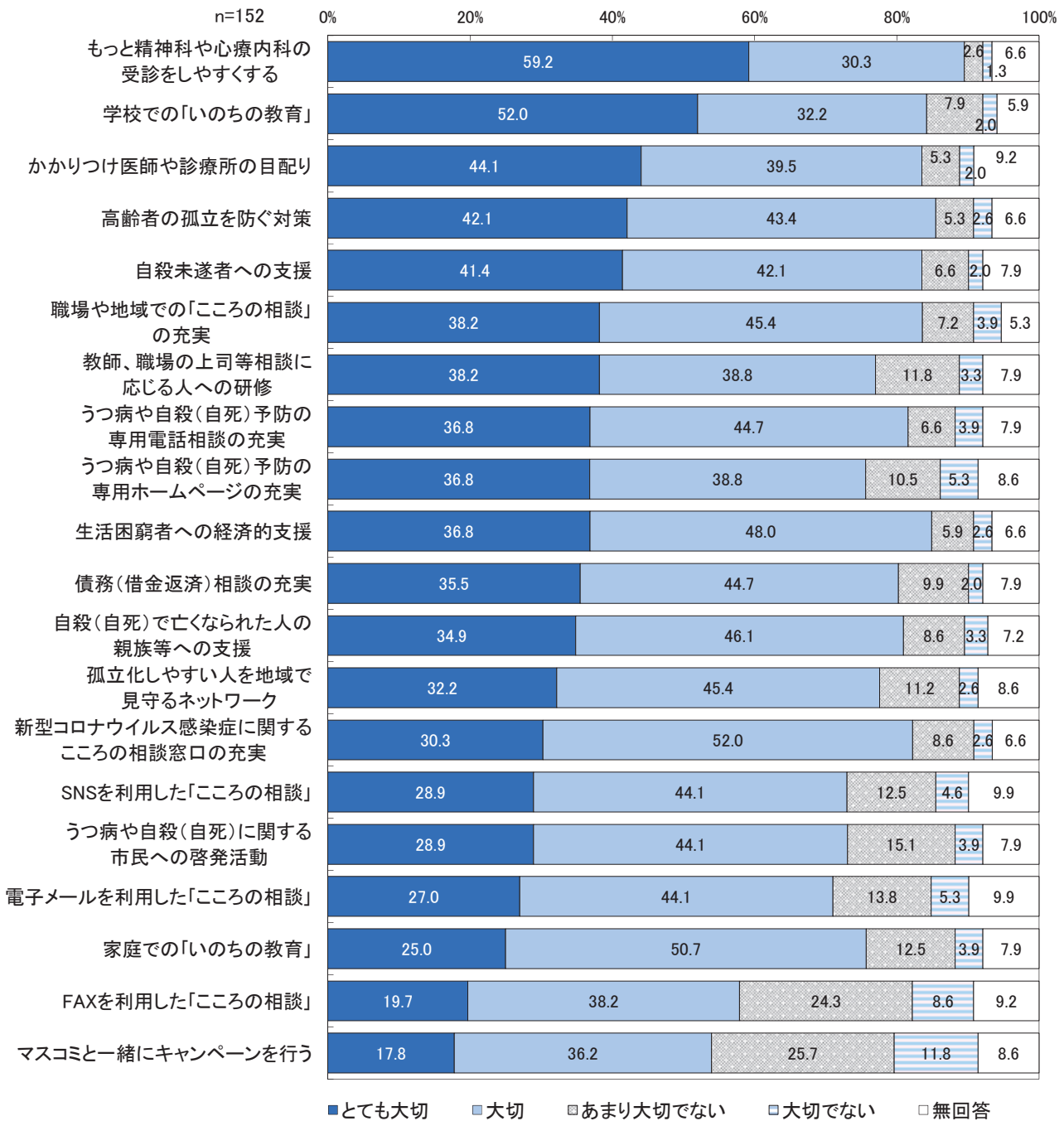
自殺（自死）対策として大切だと思うことについて、『大切』（「とても大切」＋「大切」）と回答した人の割合は、いずれの項目においても5割を超え、「学校での『いのちの教育』」においては約9割、「高齢者の孤立を防ぐ対策」、「もっと精神科や心療内科の受診をしやすいにする」においては8割台後半、となっている。

【自殺（自死）対策として大切だと思うこと（死にたいと思うほどの悩みやストレスがあった人）】



死にたいと思うほどの悩みやストレスがあった人では、『大切』と回答した人の割合は、いずれの項目においても5割を超え、「高齢者の孤立を防ぐ対策」、「もっと精神科や心療内科の受診をしやすくする」、「学校での『いのちの教育』」、「職場や地域での『こころの相談』の充実」、「生活困窮者への経済的支援」において8割台となっている。

【自殺（自死）対策として大切だと思うこと（抑うつ尺度で重症のうつ状態に該当する人）】

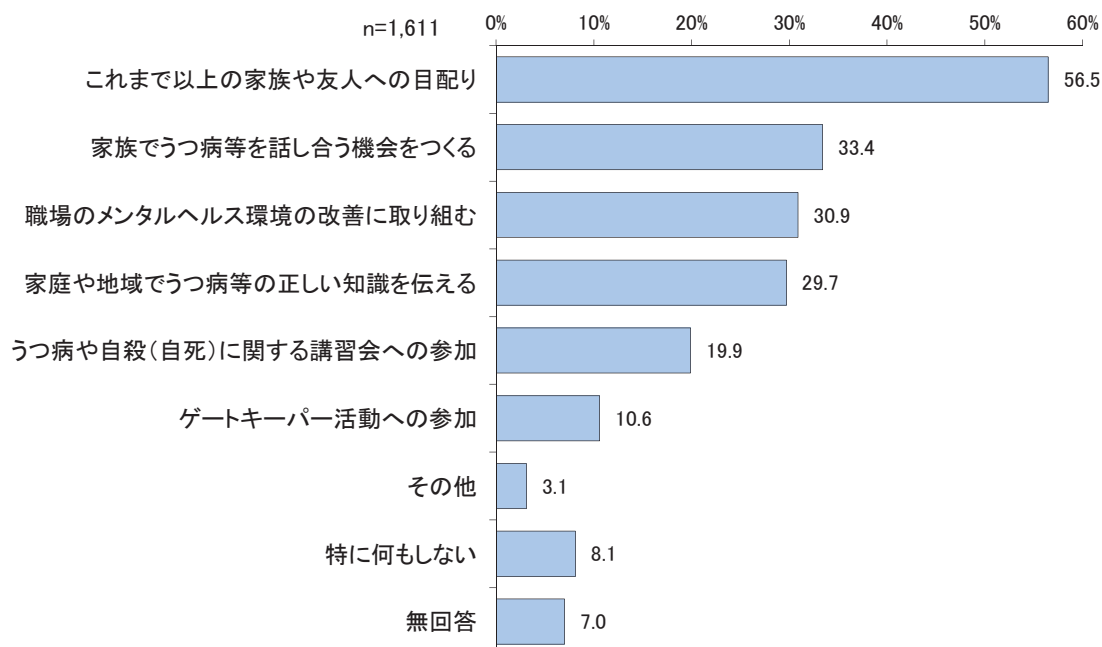


抑うつ尺度で重症のうつ状態に該当する人では、『大切』と回答した人の割合は、いずれの項目においても5割を超え、「もっと精神科や心療内科の受診をしやすくする」、「高齢者の孤立を防ぐ対策」において8割台後半となっている。

(5) 自殺（自死）対策のために取り組むことができること

問 32 あなたが自殺（自死）対策のために取り組むことができると思うことはどのようなものですか。（○はいくつでも）

【自殺（自死）対策のために取り組むことができること】



自殺（自死）対策のために取り組むことができることについて、「これまで以上の家族や友人への目配り」と回答した人の割合が 56.5%と最も高く、「家族でうつ病等を話し合う機会をつくる」（33.4%）、「職場のメンタルヘルス環境の改善に取り組む」（30.9%）、「家庭や地域でうつ病等の正しい知識を伝える」（29.7%）が続いている。

【自殺（自死）対策のために取り組むことができること（性別、性・年齢別）】

	回答数	これまで以上の家族や友人への目配り	家族でうつ病等を話し合う機会をつくる	職場のメンタルヘルス環境の改善に取り組む	家庭や地域でうつ病等の正しい知識を伝える	うつ病や自殺（自死）に関する講習会への参加	ゲートキーパー活動への参加	その他	特に何もしない	無回答
男性	693	49.9%	33.8%	32.0%	29.6%	19.0%	8.8%	2.6%	11.1%	6.6%
女性	900	61.3%	33.3%	30.2%	30.0%	20.8%	12.2%	3.6%	5.7%	7.0%
男性 15～19歳	27	74.1%	37.0%	29.6%	18.5%	25.9%	18.5%	3.7%	3.7%	-
20歳代	52	50.0%	32.7%	40.4%	36.5%	15.4%	7.7%	1.9%	21.2%	1.9%
30歳代	81	50.6%	25.9%	50.6%	25.9%	13.6%	12.3%	4.9%	8.6%	1.2%
40歳代	114	48.2%	43.0%	43.0%	32.5%	21.1%	8.8%	1.8%	7.9%	4.4%
50歳代	96	59.4%	34.4%	43.8%	26.0%	20.8%	8.3%	3.1%	9.4%	3.1%
60歳代	117	47.9%	28.2%	30.8%	29.1%	23.1%	7.7%	1.7%	14.5%	4.3%
70歳以上	205	43.9%	34.1%	12.2%	31.2%	17.1%	7.3%	2.4%	11.2%	15.1%
女性 15～19歳	31	61.3%	29.0%	32.3%	32.3%	19.4%	25.8%	3.2%	9.7%	-
20歳代	65	78.5%	29.2%	49.2%	35.4%	16.9%	16.9%	1.5%	4.6%	1.5%
30歳代	91	70.3%	31.9%	44.0%	26.4%	13.2%	15.4%	3.3%	5.5%	1.1%
40歳代	169	66.9%	42.6%	38.5%	32.0%	16.6%	8.9%	3.6%	4.1%	4.1%
50歳代	169	66.3%	33.7%	33.1%	30.8%	22.5%	15.4%	4.7%	5.3%	4.7%
60歳代	127	59.8%	28.3%	23.6%	26.0%	25.2%	9.4%	4.7%	5.5%	2.4%
70歳以上	246	47.2%	31.3%	15.9%	30.1%	24.4%	9.8%	2.8%	6.9%	17.1%

性別にみると、「これまで以上の家族や友人への目配り」と回答した人の割合は、女性で6割台前半となっているが、男性では約5割となっている。

性・年齢別にみると、「これまで以上の家族や友人への目配り」と回答した人の割合は、男性15～19歳、女性20歳代、女性30歳代で7割を超えている。

「家族でうつ病等を話し合う機会をつくる」と回答した人の割合は、男女ともに40歳代で4割を超えている。

「職場のメンタルヘルス環境の改善に取り組む」と回答した人の割合は、男性30歳代、女性20歳代で約5割となっている。